

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	学部を設置者変更									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン テンリダイガク 学校法人天理大学					ガッコウホウジンテンリヨロツソウダンショガクエン (旧設置者) 学校法人天理よろづ相談所学園				
フリガナ大学の名称	テンリダイガク 天理大学 (Tenri University)									
大学本部の位置	奈良県天理市杣之内町1050番地									
大学の目的	本大学は、教育基本法および学校教育法に則り、天理教教義に基づいて、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、もって人類の福祉と文化の発展に貢献する人材、殊に世界布教に従事すべき者を育成することを目的とする。									
新設学部等の目的	天理大学と天理医療大学は同じ宗教的基盤のもとで人文系総合大学及び医療系大学として教育文化を育んできたが、双方の教育文化を融合することで、それぞれの大学の研究分野を連携し、伝統に培われた教育内容を一元的に学生に提供することで学修の幅を拡げることが可能になる。加えて、文理を融合した幅広い学修内容を準備することで、多様な学生を受け入れることが可能になり、将来、さまざまな地域社会において積極的に貢献できる人材の育成することを目的とする。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	医療学部 [Faculty of Health Care]	年	100人	年次人			年月第年次	奈良県天理市別所町80番地の1		
	看護学科 [Department of Nursing]	4	70	-	280	学士看護学	令和5年4月第1年次	同上		
	臨床検査学科 [Department of Clinical Examination]	4	30	-	120	学士臨床検査学	令和5年4月第1年次	同上		
	計									
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	医療学部 看護学科	37	26	13	76	124 単位				
医療学部 臨床検査学科	33 科目	22 科目	20 科目	75 科目	124 単位					
教員組	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分	医療学部 看護学科	7人	3人	9人	6人	25人	4人	70人	
		医療学部 臨床検査学科	9	1	2	1	13	0	27	
		計	16	4	11	7	38	4	97	
	既組	人間学部	-	-	-	-	-	-	-	
		宗教学科	3	0	1	1	5	0	15	
		人間関係学科	-	-	-	-	-	-	-	
		臨床心理専攻	3	2	0	0	5	0	10	
		生涯教育専攻	3	2	0	0	5	0	3	

概 要	設 の 織	社会福祉専攻	2	2	1	0	5	0	10
		総合教育研究センター	8	3	0	0	11	0	33
		文学部 国文学国語学科	6	0	0	0	6	0	8
		文学部 歴史文化学科	6	3	1	0	10	0	16
		国際学部	—	—	—	—	—	—	5
		外国語学科	—	—	—	—	—	—	—
		英米語専攻	4	7	0	0	11	0	23
		中国語専攻	2	2	0	0	4	0	7
		韓国・朝鮮語専攻	3	1	1	0	5	0	3
		スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻	3	2	0	0	5	0	6
		地域文化学科	17	7	3	0	27	0	34
		体育学部	—	—	—	—	—	—	—
		体育学科	12	8	4	1	25	0	22
		附属 おやさと研究所	2	0	2	0	4	0	0
		計	74	39	13	2	128	0	195
合 計	90	43	2	9	166	4	292		
教員 以外 の職 員の 概要	職 種	専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員	118 人		52 人		170 人			
	技 術 職 員	0		0		0			
	図 書 館 専 門 職 員	26		7		33			
	そ の 他 の 職 員	13		1		14			
	計	157		60		217			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	148,332.61㎡	0㎡	0㎡	148,332.61㎡					
	運 動 場 用 地	163,322.48㎡	0㎡	0㎡	163,322.48㎡					
	小 計	311,655.09㎡	0㎡	0㎡	311,655.09㎡					
	そ の 他	27,034.99㎡	0㎡	0㎡	27,034.99㎡					
合 計	338,690.08㎡	0㎡	0㎡	0㎡	338,690.08㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
		81,584.21㎡	0㎡	0㎡	81,584.21㎡					
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	新設学部				
	7 室	13 室	9 室	0 室	0 室					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		新設学部				
		医療学部		30 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	新設学部		
	医療学部	10,000 〔288〕	2,538 〔665〕	2,252 〔659〕	531	0	0			
	計	10,000 〔288〕	2,538 〔665〕	2,252 〔659〕	531	0	0			
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		14,348.40㎡	349席		170万冊					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		16,377.25㎡	武道館（柔剣道場） 2,434.73 ㎡ 弓道場 203.34 ㎡ 空手道場 283.14 ㎡ トレーニングルーム 220.32 ㎡							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	新設学部
		教員1人当り研究費等		292 千円	292 千円	292 千円	292 千円	—	—	
		共同研究費等		1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	—	—	
		図書購入費	1,816 千円	1,816 千円	1,816 千円	1,816 千円	1,816 千円	—	—	
	設備購入費	18,550 千円	18,550 千円	18,550 千円	18,550 千円	18,550 千円	—	—		
	学生1 人当り 納付金	学部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		人間・文 国際	1,080千円	1,030千円	930千円	910千円	—	—		
体育		1,150	1,100	1,000	980	—	—			
医療	1,565	1,590	1,590	1,590	—	—				
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入等を充当する							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称		天理大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	大学院	年	人	年次・人	人		倍			
	宗教文化研究科	2	6	—	12	修士（宗教文化）	0.12	平成29年度	奈良県天理市袖之内町1050番地	
	臨床人間学研究科	2	8	—	16	修士（臨床心理学）	0.90	平成16年度	同上	
	体育学研究科	2	12	—	24	修士（体育学）	0.74	平成27年度	同上	
	人間学部			120						
	宗教学科	4	40	—	160	学士（宗教学）	0.76	平成4年度	同上	
	人間関係学科									
	臨床心理専攻	4	30	—	120	学士（臨床心理）	1.01	平成4年度	同上	
	生涯教育専攻	4	20	—	80	学士（生涯教育）	0.92	平成4年度	同上	
	社会福祉専攻	4	30	—	120	学士（社会福祉）	1.06	平成4年度	同上	
	文学部									
国文学国語学科	4	40	—	160	学士（国文学）	0.91	昭和24年度	同上		
歴史文化学科	4	50	—	200	学士（歴史文化）	0.80	平成4年度	同上		

国際学部		360		1440					
外国語学科									
英米語専攻	4	70	—	280	学士（英語）	0.91	平成22年度	同上	
中国語専攻	4	30	—	120	学士（中国語）	0.70	平成22年度	同上	
韓国・朝鮮語専攻	4	30	—	120	学士（韓国・朝鮮語）	1.15	平成22年度	同上	
スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻	4	35	—	140	学士（スペイン語） 学士（ブラジルポルトガル語）	0.68	平成27年度	同上	
地域文化学科	4	195	—	780	学士（地域文化）	0.96	平成22年度	同上	
体育学部		200		800					
体育学科	4	200	—	800	学士（体育学）	1.09	昭和30年度	奈良県天理市田井庄町80番地	
附属施設の概要	<p>名称：天理大学附属天理図書館 目的：天理大学における教育研究に資するため、図書及びその他の資料を収集、整理、保存 所在地：奈良県天理市柚之内町1050番地 設置年月：大正14年8月 規模等：延面積 11,482㎡ 蔵書数 150万冊 名称：天理大学附属おやさと研究所 目的：天理教及び世界諸民族の宗教・文化を研究調査する 所在地：奈良県天理市柚之内町1050番地 設置年月：昭和17年12月 名称：天理大学附属天理参考館 目的：民俗学・民族学・考古学に関する学術研究資料を総合的に収集、整理、保存 所在地：奈良県天理市守日堂町250番地 設置年月：昭和5年4月 規模等：延面積 13,556㎡ 収蔵資料 30万点</p>								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の出定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人天理大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由	
天理大学 人間学部 宗教学科 40 — 160 人間関係学科 臨床心理専攻 30 — 120 生涯教育専攻 20 — 80 社会福祉専攻 30 — 120 文学部 国文学国語学科 40 — 160 歴史文化学科 50 — 200 国際学部 外国語学科 英米語専攻 70 — 280 中国語専攻 30 — 120 韓国・朝鮮語専攻 30 — 120 スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻 35 — 140 地域文化学科 195 — 780 体育学部 体育学科 200 — 800 <hr/> 計 770 — 3080				→	天理大学 人間学部 宗教学科 40 — 160 人間関係学科 臨床心理専攻 30 — 120 生涯教育専攻 20 — 80 社会福祉専攻 30 — 120 文学部 国文学国語学科 40 — 160 歴史文化学科 50 — 200 国際学部 外国語学科 英米語専攻 70 — 280 中国語専攻 30 — 120 韓国・朝鮮語専攻 30 — 120 スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻 35 — 140 地域文化学科 195 — 780 体育学部 体育学科 200 — 800 医療学部 看護学科 70 — 280 臨床検査学科 30 — 120 <hr/> 計 870 — 3480				学部設置者の変更
天理大学大学院 宗教文化研究科 宗教文化研究専攻 6 — 12 臨床人間学研究科 臨床心理学専攻 8 — 16 体育学研究科 体育学専攻 12 — 24 <hr/> 計(大学院) 26 — 52				→	天理大学大学院 宗教文化研究科 宗教文化研究専攻 6 — 12 臨床人間学研究科 臨床心理学専攻 8 — 16 体育学研究科 体育学専攻 12 — 24 <hr/> 計(大学院) 26 — 52				
天理医療大学 医療学部 看護学科 70 — 280 臨床検査学科 30 — 120 <hr/> 計 100 — 400									

学校法人天理大学 沿革

(1) 建学の精神

親神（おやがみ）は、「陽気ぐらし」を共に楽しみたいと思召されて、人間世界を創造された。

教祖（おやさま）は、この元なる親神（おやがみ）の存在と、世界一列きょうだいの真実を明かし、「ひながた」の道を通して、互いにたすけあう生き方を示された。

本学は、教祖（おやさま）の教えに基づいて、「陽気ぐらし」世界建設に寄与する人材の養成を使命とする。

—解説—

天理教は、「陽気ぐらし」を目標に、世界たすけを目指す宗教である。「陽気ぐらし」を実現するためには、人間みな神の子として兄弟姉妹であることを自覚し、互いにたすけ合って生きなければならない。教祖中山みきは、この真実を自ら身をもって示された。これが「ひながた」であり、人間の行動規範である。「陽気ぐらし」世界は、全人類が平和に暮らせる、まったく新しい地球文明である。天理大学は、さまざまな文化、文明の特色を認識し、その違いを尊重しながら、互いに補い合いたすけ合っていく道を、理論と実践の両面から探求するとともに、天理スピリットとして「他者への献身」を強調している。

(2) 沿革

- 明治33年 天理教校開校
- 明治41年 私立天理中学校開校(大正8年天理中学校に改称)
- 大正 9年 天理女学校開校
- 大正12年 天理女学校を高等女学校令による天理高等女学校に改組・改称
- 大正14年 天理幼稚園、天理尋常小学校、各種学校令による天理外国語学校開校
天理図書館を天理外国語学校内に設置
- 昭和 2年 財団法人天理外国語学校設立、専門学校令による天理外国語学校開校
- 昭和 3年 専門学校令による天理外国語学校(男子)と天理女子学院(女子)に改組・改称
天理中等学校(定時制)開校(昭和18年天理中学校第二部に統合)
- 昭和 5年 海外事情参考品室(現天理大学附属天理参考館)を天理外国語学校内に設置
- 昭和10年 財団法人天理教いちれつ会に改組、天理第二中学校開校
- 昭和15年 天理女子学院を専門学校令による天理女子専門学校に改組・改称
- 昭和16年 天理夜間女学校開校(昭和19年天理高等女学校第二部に改組)
- 昭和17年 天理教亜細亜文化研究所(現天理大学附属おやさと研究所)設置
- 昭和19年 天理外国語学校を天理語学専門学校に、また天理女子専門学校を天理女子語学
専門学校にそれぞれ改組・改称(昭和22年統合、昭和26年廃校)
- 昭和22年 新制天理中学校開校
- 昭和23年 財団法人天理語学専門学校に改組、新制天理高等学校(第一部・第二部)開校
- 昭和24年 財団法人天理大学に改称
新制天理大学開学
(文学部、昭和27年外国語学部設置(平成12年廃止)、昭和30年体育学部設置)
- 昭和25年 天理大学短期大学部設置(昭和34年廃止)
- 昭和26年 私立学校法により学校法人天理大学に組織変更
- 昭和33年 天理大学選科日本語科設置(昭和56年別科日本語課程、外国語課程に改組・改
称、外国語課程は平成4年度から募集停止、日本語課程は平成6年度から募集停
止)

- 昭和38年 天理准看護婦養成所開設(平成13年廃止)
- 平成 4年 天理大学人間学部(宗教学科、人間関係学科)、国際文化学部(日本学科、朝鮮学科、中国学科、タイ学科、インドネシア学科、英米学科、ドイツ学科、フランス学科、ロシア学科、イスパニア学科、ブラジル学科(平成15年募集停止、平成21年廃止))、文学部(歴史文化学科)設置
- 平成12年 天理高等学校第二部に介護福祉科設置(平成24年廃止)
- 平成15年 天理大学国際文化学部アジア学科、ヨーロッパ・アメリカ学科設置(平成22年募集停止、平成29年廃止)
- 平成16年 天理大学大学院臨床人間学研究科臨床心理学専攻修士課程設置
- 平成22年 天理大学国際学部外国語学科、地域文化学科設置
- 平成27年 天理大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程設置
- 平成29年 天理大学大学院宗教文化研究科宗教文化研究専攻修士課程設置

学校法人天理よろづ相談所学園・天理医療大学の沿革

(1) 建学の精神

人に尽くすことを自らのよろこびとする

(解説)

天理医療大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、人に尽くすことを自らのよろこびとするという天理教の信条教育を基調として、社会人としての豊かな知識を持ち、医療に関わる専門性の高い技術・技能を習得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を胸に秘めた人材を育成することを目的としている。

大学設立の目的にそって、自ら積極的に知識と技術を学びとる学習態度を持ち、また、他者との関わりを大事にして、チーム医療の一員としての役割を果たせる心と技術を獲得できる、即ち自律と協働する力を持った医療者を育てることを医療学部設置の目的としている。

(2) 沿革

公益財団法人天理よろづ相談所は、昭和41年に天理よろづ相談所病院（別称 憩の家）を設立し、医療奉仕活動を続けている。天理教教義の教養を備え、「たすけの心」＝「人に尽くすことを自らのよろこびとする心」を基本とした医療者の育成事業としては、昭和42（1967）年に天理高等看護学院（後の天理看護学院）と天理衛生検査技師学校（後の天理医学技術学校）を開校。これまで多くの看護師、助産師、臨床検査技師、臨床工学技士が卒業し、奈良県内のみならず、広く全国の医療機関や医療施設で活躍している。学校法人天理よろづ相談所学園は、この両校の理念と実績を継承し天理医療大学を設立した。

- 昭和41（1966）年 財団法人天理よろづ相談所病院 設立
- 昭和42（1967）年 天理高等看護学院（定員50名）、及び天理衛生検査技師学校開校
- 昭和48（1973）年 天理衛生検査技師学校の学校名を「天理医学技術学校」に改称
- 昭和52（1977）年 天理高等看護学院 学則一部改正 学生定員を1学年80名に増員
- 昭和54（1979）年 天理高等看護学院 専修学校認可 学院名を「天理看護学院」に改称
天理医学技術学校 専修学校<医療専門課程>認可
- 昭和60（1985）年 天理看護学院 3年過程認可 第一看護学科と呼称、定員50名
従来の2年過程は第二看護学科と呼称 定員50名
- 平成6（1994）年 天理医学技術学校 「専門士」称号授与認可
- 平成7（1995）年 天理看護学院 「専門士」称号授与認可
- 平成8（1996）年 天理看護学院・天理医学技術学校 新校舎竣工
- 平成10（1998）年 天理看護学院 学則一部変更 第一看護学科定員70名
第二看護学科定員30名
- 平成13（2001）年 天理医学技術学校 臨床工学専攻科（昼間1年制）新設
- 平成15（2003）年 天理看護学院 学生寮を「よろこび寮」と改称
男子学生寮「おやさと一号館」竣工
- 平成17（2005）年 天理看護学院 第二看護学科閉科
天理看護学院 助産学科（昼間1年制）新設
- 平成21（2009）年 女子学生寮「別所よろこび寮」竣工
- 平成23（2011）年 学校法人天理よろづ相談所学園 設立
天理医療大学 大学設置認可

教 育 課 程 等 の 概 要

(医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理教学A1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学A2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C2	1・2・3・4			2	○									兼1
	建学の精神科目		2・3・4			2	○								兼1 遠隔
基礎教育科目	基礎ゼミナール	1	2				○		4		1	1			兼4
	英語A1	1	1				○			1					兼3
	英語A2	1	1				○			1					兼3
	英語B1	1	1				○			1					兼3
	英語B2	1	1				○			1					兼3
	健康スポーツ科学1	1		2		○									兼3
	健康スポーツ科学2	1		2		○									兼3
基礎からわかる生物・化学	1	2			○			2							
教養科目	地球環境論	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4		2		○									兼1
	法学	1・2・3・4		2		○									兼1
	経済学概論1	1・2・3・4		2		○									兼1
	経済学概論2	1・2・3・4		2		○									兼1
	政治学	1・2・3・4		2		○									兼1
	哲学概論A	1・2・3・4		2		○									兼1
	哲学概論B	1・2・3・4		2		○									兼1
	倫理学1	1・2・3・4		2		○									兼1
	倫理学2	1・2・3・4		2		○									兼1
	心理学1	1・2・3・4		2		○									兼1
	心理学2	1・2・3・4		2		○									兼1
	ジェンダー・セクシュアリティ	1・2・3・4		2		○									兼1
	労働と社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	障害学	1・2・3・4		2		○									兼1
カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4		2		○									兼1	
小計(31科目)		—	8	36	14	—			6	4	1	1	0	兼45	
専門科目	臨床心理学	1	2			○									兼2
	コミュニケーション演習	1	1				○			1					兼1
	現代家族論	2		2		○									兼1
	教育学概論	2		2		○									兼1
	医療英語A	2			1		○		1	2					兼1
	医療英語B	2			1		○		1	1					兼1
	体のしくみⅠ	1	2			○			1						兼1
	体のしくみⅡ	1	2			○			1						兼1
	分子医学の基礎	1	2			○			2						
	生化学	1		2		○			2						
	微生物学	1			1		○		1						兼1
疾病の成り立ちと治療Ⅰ	1	2			○			2							

	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	1	2			○			3					兼4
	疾病の成り立ちと治療Ⅲ	2	2			○			2					兼5
	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2	2			○			2					兼4
	疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2	2			○			1					兼6
	病理学	2		1			○		1					
	薬理学・臨床薬理学	2	2			○			1					兼2
	栄養学・臨床栄養学	2	2			○				1				兼3
	保健医療概論	1	2			○			3	1				兼3
	公衆衛生学	1	2			○			1					
	保健医療福祉行政論	2	2			○			2		1			兼2
	現代社会と福祉 1	2	2			○								兼1
	医療安全管理学	4	2			○								兼2
	情報科学演習	2	1				○		1					
	小計 (25科目)	—	34	4	6		—		28	6	1	0	0	兼42
看護学 専門科目	看護学概論	1	2			○			2					
	看護早期実習	1	1					○	2	1	2			
	看護過程論	1	1				○		2	1	2			兼1
	看護方法論Ⅰ	1	2				○		2	1	2			兼1
	看護援助論	2	2			○			2	1	2			兼1
	看護方法論Ⅱ	2	2				○		2	1	2			兼1
	ヘルスアセスメント	2	2				○		2	1	2			兼1
	看護基礎実習	2	2					○	2	1	2			
	地域の暮らしと看護	1	1				○		1	2				
	地域・在宅看護学	2	2			○			1	1				兼1
	地域看護方法論	2	1				○		1	2				
	在宅看護方法論	2	1				○		1	2				
	在宅看護学実習	4	2					○	1	2				兼1
	地域共生マネジメント論	4	1				○		1	1				兼1
	地域共生マネジメント実習	4	1					○	1	1				兼1
	成人看護学	2	2			○			1	3				
	成人看護援助論	3	2			○			1	3		1		兼1
	慢性期看護方法論	3	1				○		1	3		1		
	慢性期（在宅移行）看護学実習	3	3					○	1	3		1		
	急性期看護方法論	3	1				○		1	3		1		
	急性期看護学実習	3	2					○	1	3		1		
	高齢者看護学	2	2			○			1	1	2	1		
	高齢者看護学方法論	3	2				○		1	1	2	1		
	高齢者看護学実習Ⅰ	3	1					○	1	1	2	1		
	高齢者看護学実習Ⅱ	3	2					○	1	1	2	1		
	小児看護学	2	2			○			1	2		1		
	小児看護方法論	3	2				○		1	2				兼3
	小児看護学実習	3	2					○	1	1				
	母性看護学	2	2			○			1	1				
	母性看護方法論	3	2				○		1	1		1		
	母性看護学実習	3	2				○		1	1		1		
	精神看護学	2	2			○			1					
	精神看護方法論	3	2				○		1	1				
精神看護学実習	3	2					○	1	1					
地域健康教育方法論	2	1				○		1		1			学科教員全員	
地域健康教育実習	2	1					○	1					学科教員全員	
家族看護論	3		1		○			4						
ストレスマネジメント論	3		1		○			1						
看護学研究方法論	3	1				○		3					学科教員全員	
看護学研究	4	2				○		1					学科教員全員	
看護管理論	4	2			○			1					兼5	

看護総合実習	4	2				○	1						学科教員全員
臨床判断能力の探求	4	1				○	1						学科教員全員
国際看護論	4	1				○		1					兼2
災害看護論	4	1				○	1						
緩和ケア論	4		1			○	1						
がん看護論	4		1			○			1				
ウィメンズヘルスケア論	4		1			○	1		1			1	
クリティカルケア論	4		1			○			2				
グリーンフケア論	4		1			○		1					
高齢者健康増進看護論	4		1			○				1	2	2	
小計 (75科目)	—	71	8	0		—	60	7	51	24	15	兼20	
合計 (131科目)	—	113	48	20		—	94	17	53	25	15	兼107	
学位又は称号	学士 (看護学)			学位又は学科の分野			看護学						
卒業要件及び履修方法							授業期間等						
							1 学年の学期区分			2 期			
							1 学期の授業期間			15 週			
							1 時限の授業時間			90 分			

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

（医療学部臨床検査学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理教学A 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学A 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	建学の精神科目		2・3・4			2	○								
基礎教育科目	基礎ゼミナール	1	2				○		4		1	1			兼4
	英語A 1	1	1				○			1					兼3
	英語A 2	1	1				○			1					兼3
	英語B 1	1	1				○			1					兼3
	英語B 2	1	1				○			1					兼3
	健康スポーツ科学 1	1		2		○									兼3
	健康スポーツ科学 2	1		2		○									兼3
基礎からわかる生物・化学	1	2			○			2							
教養科目	地球環境論	1・2・3・4			2	○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4			2	○									兼1
	法学	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	政治学	1・2・3・4			2	○									兼1
	哲学概論A	1・2・3・4			2	○									兼1
	哲学概論B	1・2・3・4			2	○									兼1
	倫理学 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	倫理学 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	心理学 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	心理学 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	ジェンダー・セクシュアリティ	1・2・3・4			2	○									兼1
	労働と社会	1・2・3・4			2	○									兼1
	障害学	1・2・3・4			2	○									兼1
カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4			2	○									兼1	
小計（31科目）		—	8	36	14	—			6	4	1	1	0	兼45	
専門科目	臨床心理学	1	2			○									兼2
	コミュニケーション演習	1	1				○			1					兼1
	現代家族論	2		2		○									兼1
	教育学概論	2		2		○									兼1
	医療英語A	2			1		○		1	2					兼1
	医療英語B	2			1		○		1	1					兼1
	体のしくみ I	1	2			○			1						兼1
	体のしくみ II	1	2			○			1						兼1
	分子医学の基礎	1	2			○			2						
	生化学	1			2	○			2						
	微生物学	1			1		○		1						兼1
	疾病の成り立ちと治療 I	1	2			○			2						
	疾病の成り立ちと治療 II	1	2			○			3						兼4
	疾病の成り立ちと治療 III	2	2			○			2						兼5
	疾病の成り立ちと治療 IV	2	2			○			2						兼4
	疾病の成り立ちと治療 V	2	2			○			1						兼6
病理学	2			1		○		1							

	薬理学・臨床薬理学	2	2			○			1						兼2
	栄養学・臨床栄養学	2	2			○				1					兼3
	保健医療概論	1	2			○			3	1					兼3
	公衆衛生学	1	2			○			1						
	保健医療福祉行政論	2	2			○			2		1				兼2
	現代社会と福祉1	2	2			○									兼1
	医療安全管理学	4	2			○									兼2
	情報科学演習	2	1				○		1						
	小計 (25科目)	—	34	4	6		—		28	6	1	0	0		兼42
臨床検査学専門科目	医用工学	4	2			○				1	1				
	医用工学実習	4	1					○		1					
	血液検査学Ⅰ	1	2			○					1				
	血液検査学Ⅱ	1	1					○	1		1				兼1
	血液検査学実習	2	1					○			1				兼4
	病理検査学Ⅰ	2	2			○			1						兼1
	病理検査学Ⅱ	3	1					○	1						兼1
	病理検査学実習Ⅰ	2	1					○	1						兼2
	病理検査学実習Ⅱ	3	1					○	1						兼2
	臨床一般検査学	1	2			○			1						
	臨床一般検査学実習	1	1					○	1		1				
	医動物検査学	4	1					○	1		1				兼1
	生化学検査学	1	2			○			1						
	生化学検査学実習	2	1					○	1						
	免疫検査学	2	2			○			1		1				兼1
	免疫検査学実習	2	1					○	1		1				兼2
	遺伝子関連・染色体検査学	3	1					○			1				
	遺伝子関連・染色体検査学実習	3	1					○			1				
	輸血・移植検査学	3	2			○			1		1				兼2
	輸血・移植検査学実習	3	2					○	1		1				兼2
	微生物検査学Ⅰ	2	2			○			1		1				
	微生物検査学Ⅱ	2	2			○			1		1				
	微生物検査学実習	3	2					○	1		1				
	基礎生理検査学	1	2			○			1						
	循環機能検査学	1	2			○			1		1				
	神経感覚機能検査学	2	2			○			1						兼2
	超音波検査学	2	2			○			2						兼4
	生理検査学実習	2	2					○	1		1				兼5
	臨床検査総合管理学Ⅰ	1	2			○			1						
	臨床検査総合管理学Ⅱ	2	1					○	1		1				兼1
	臨床検査総合管理学Ⅲ	3	1					○	1						兼3
	臨床検査総合管理学Ⅳ	4	1					○	1						兼2
	臨床病態検査学	4	1					○	1						兼1
	臨地実習前総合演習	3	1						6	1	3				
	病理検査学臨地実習	3	1						1						
	血液検査学・輸血移植検査学臨地実習	3	2								1				
生化学・免疫検査学臨地実習	3	1						3							
微生物検査学臨地実習	3	1						1		1					
生理検査学臨地実習	3	4						1	1						
検査総合管理学臨地実習	3	2						2	1						
専門的臨床検査実習	4	1						5	1	2					
臨床検査基礎演習	1	1				○		4		3					
臨床検査学研究Ⅰ	3	1				○		6	1	3					
臨床検査学研究Ⅱ	4	6					○	6	1	3					
臨床検査学研究A	4	1				○		6	1	2					
臨床検査学研究B	4		1			○		1							
臨床検査学総合演習A	4		1			○		1		1					
臨床検査学総合演習B	4		1			○		1		1					
臨床検査学総合演習C	4		1			○		2		1					
臨床検査学総合演習D	4		1			○		1	1						
小計 (76科目)	—	72	5	0		—		75	10	39	0	0		兼37	

合計 (132科目)	—	114	45	20	—	109	20	41	1	0	兼124
学位又は称号	学士 (臨床検査学)	学位又は学科の分野				保健衛生学					
卒業要件及び履修方法						授業期間等					
						1 学年の学期区分			2 期		
						1 学期の授業期間			15 週		
						1 時限の授業時間			90 分		

(注)

- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校¹の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校¹の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校¹の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

（医療学部看護学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理教学A1	1・2・3・4			2	○					1				
	天理教学A2	1・2・3・4			2	○				1					
	天理教学B1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C2	1・2・3・4			2	○									兼1
	建学の精神科目		2・3・4			2	○			1					
基礎教育科目	基礎ゼミナール	1	2				○		4		1	1			兼4
	英語A1	1	1				○			1					兼3
	英語A2	1	1				○			1					兼3
	英語B1	1	1				○			1					兼3
	英語B2	1	1				○			1					兼3
	健康スポーツ科学1	1		2		○				2		1			
	健康スポーツ科学2	1		2		○				2		1			
基礎からわかる生物・化学	1	2			○			2							
教養科目	地球環境論	1・2・3・4			2	○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4			2	○									兼1
	法学	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論1	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論2	1・2・3・4			2	○									兼1
	政治学	1・2・3・4			2	○									兼1
	哲学概論A	1・2・3・4			2	○				1					
	哲学概論B	1・2・3・4			2	○				1					
	倫理学1	1・2・3・4			2	○			1						
	倫理学2	1・2・3・4			2	○			1						
	心理学1	1・2・3・4			2	○									兼1
	心理学2	1・2・3・4			2	○									兼1
	ジェンダー・セクシュアリティ	1・2・3・4			2	○			1						
	労働と社会	1・2・3・4			2	○									兼1
	障害学	1・2・3・4			2	○									兼1
カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4			2	○			1							
小計（31科目）		—	8	36	14		—		11	10	3	3	0	兼30	
専門科目	学部共通科目														
	臨床心理学	1	2			○			1						兼1
	コミュニケーション演習	1	1				○			1					兼1
	現代家族論	2		2		○									兼1
	教育学概論	2		2		○									兼1
	医療英語A	2			1		○		1	2					兼1
	医療英語B	2			1		○		1	1					兼1
	体のしくみI	1	2			○			1						兼1
	体のしくみII	1	2			○			1						兼1
	分子医学の基礎	1	2			○			2						
	生化学	1			2	○			2						
	微生物学	1			1		○		1						兼1
	疾病の成り立ちと治療I	1	2			○			2						
	疾病の成り立ちと治療II	1	2			○			3						兼4
疾病の成り立ちと治療III	2	2			○			2						兼5	
疾病の成り立ちと治療IV	2	2			○			2						兼4	
疾病の成り立ちと治療V	2	2			○			1						兼6	

	高齢者健康増進看護論	4		1		○								
	小計 (75科目)	—	71	8	0	—			1	1	2	2		
	合計 (131科目)	—	113	48	20	—			60	7	51	24	15	兼20
	合計 (131科目)	—	113	48	20	—			100	23	56	27	15	兼90
学位又は称号	学士 (看護学)	学位又は学科の分野				看護学								
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
							1 学年の学期区分			2 期				
							1 学期の授業期間			15 週				
							1 時限の授業時間			90 分				

(注)

- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

（医療学部臨床検査学科）

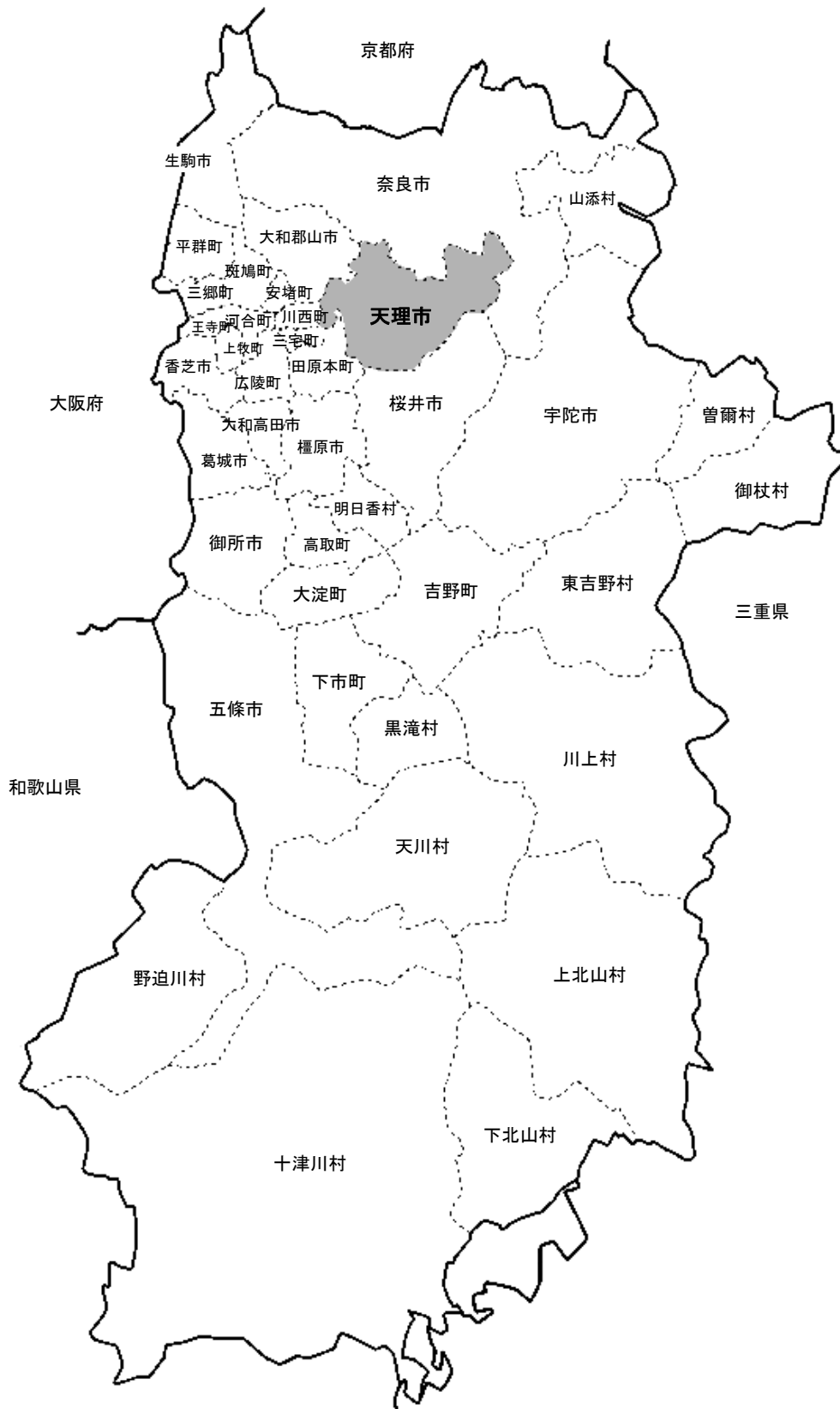
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理教学A1	1・2・3・4			2	○					1				
	天理教学A2	1・2・3・4			2	○					1				
	天理教学B1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C2	1・2・3・4			2	○									兼1
	建学の精神科目		2・3・4			2	○				1				
基礎教育科目	基礎ゼミナール	1	2				○			4		1	1		兼4
	英語A1	1	1				○				1				兼3
	英語A2	1	1				○				1				兼3
	英語B1	1	1				○				1				兼3
	英語B2	1	1				○				1				兼3
	健康スポーツ科学1	1		2		○					2		1		
	健康スポーツ科学2	1		2		○					2		1		
基礎からわかる生物・化学	1	2			○				2						
教養科目	地球環境論	1・2・3・4			2	○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4			2	○									兼1
	法学	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論1	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論2	1・2・3・4			2	○									兼1
	政治学	1・2・3・4			2	○									兼1
	哲学概論A	1・2・3・4			2	○					1				
	哲学概論B	1・2・3・4			2	○					1				
	倫理学1	1・2・3・4			2	○					1				
	倫理学2	1・2・3・4			2	○					1				
	心理学1	1・2・3・4			2	○									兼1
	心理学2	1・2・3・4			2	○									兼1
	ジェンダー・セクシュアリティ	1・2・3・4			2	○					1				
	労働と社会	1・2・3・4			2	○									兼1
	障害学	1・2・3・4			2	○									兼1
カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4			2	○					1					
小計（31科目）		—	8	36	14	—				11	10	3	3	0	兼30
専門科目	臨床心理学	1	2			○				1					兼1
	コミュニケーション演習	1	1				○				1				兼1
	現代家族論	2		2		○									兼1
	教育学概論	2		2		○									兼1
	医療英語A	2			1		○			1	2				兼1
	医療英語B	2			1		○			1	1				兼1
	体のしくみⅠ	1	2			○				1					兼1
	体のしくみⅡ	1	2			○				1					兼1
	分子医学の基礎	1	2			○				2					
	生化学	1			2	○				2					
	微生物学	1			1		○			1					兼1
	疾病の成り立ちと治療Ⅰ	1	2			○				2					
	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	1	2			○				3					兼4
	疾病の成り立ちと治療Ⅲ	2	2			○				2					兼5
	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2	2			○				2					兼4
疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2	2			○				1					兼6	
病理学	2			1		○			1						

	薬理学・臨床薬理学	2	2			○			1					兼2
	栄養学・臨床栄養学	2	2			○				1				兼3
	保健医療概論	1	2			○			3	1				兼3
	公衆衛生学	1	2			○			1					
	保健医療福祉行政論	2	2			○			2		1			兼2
	現代社会と福祉1	2	2			○					1			
	医療安全管理学	4	2			○								兼2
	情報科学演習	2	1				○		1					
	小計 (25科目)	—	34	4	6		—		29	6	2	0	0	兼40
臨床検査学専門科目	医用工学	4	2			○				1	1			
	医用工学実習	4	1					○		1				
	血液検査学Ⅰ	1	2			○					1			
	血液検査学Ⅱ	1	1					○	1		1			兼1
	血液検査学実習	2	1					○			1			兼4
	病理検査学Ⅰ	2	2			○			1					兼1
	病理検査学Ⅱ	3	1					○	1					兼1
	病理検査学実習Ⅰ	2	1					○	1					兼2
	病理検査学実習Ⅱ	3	1					○	1					兼2
	臨床一般検査学	1	2			○			1					
	臨床一般検査学実習	1	1					○	1		1			
	医動物検査学	4	1					○	1		1			兼1
	生化学検査学	1	2			○			1					
	生化学検査学実習	2	1					○	1					
	免疫検査学	2	2			○			1		1			兼1
	免疫検査学実習	2	1					○	1		1			兼2
	遺伝子関連・染色体検査学	3	1					○			1			
	遺伝子関連・染色体検査学実習	3	1					○			1			
	輸血・移植検査学	3	2			○			1		1			兼2
	輸血・移植検査学実習	3	2					○	1		1			兼2
	微生物検査学Ⅰ	2	2			○			1		1			
	微生物検査学Ⅱ	2	2			○			1		1			
	微生物検査学実習	3	2					○	1		1			
	基礎生理検査学	1	2			○			1					
	循環機能検査学	1	2			○			1		1			
	神経感覚機能検査学	2	2			○			1					兼2
	超音波検査学	2	2			○			2					兼4
	生理検査学実習	2	2					○	1		1			兼5
	臨床検査総合管理学Ⅰ	1	2			○			1					
	臨床検査総合管理学Ⅱ	2	1					○	1		1			兼1
	臨床検査総合管理学Ⅲ	3	1					○	1					兼3
	臨床検査総合管理学Ⅳ	4	1					○	1					兼2
	臨床病態検査学	4	1					○	1					兼1
	臨床実習前総合演習	3	1						6	1	3			
	病理検査学臨床実習	3	1						1					
	血液検査学・輸血移植検査学臨床実習	3	2								1			
生化学・免疫検査学臨床実習	3	1						3						
微生物検査学臨床実習	3	1						1		1				
生理検査学臨床実習	3	4						1	1					
検査総合管理学臨床実習	3	2						2	1					
専門的臨床検査実習	4	1						5	1	2				
臨床検査基礎演習	1	1				○		4		3				
臨床検査学研究Ⅰ	3	1				○		6	1	3				
臨床検査学研究Ⅱ	4	6					○	6	1	3				
臨床検査学研究A	4	1				○		6	1	2				
臨床検査学研究B	4		1			○		1						
臨床検査学総合演習A	4		1			○		1		1				
臨床検査学総合演習B	4		1			○		1		1				
臨床検査学総合演習C	4		1			○		2		1				
臨床検査学総合演習D	4		1			○		1	1					
小計 (76科目)	—	72	5	0		—		75	10	39	0	0	兼37	

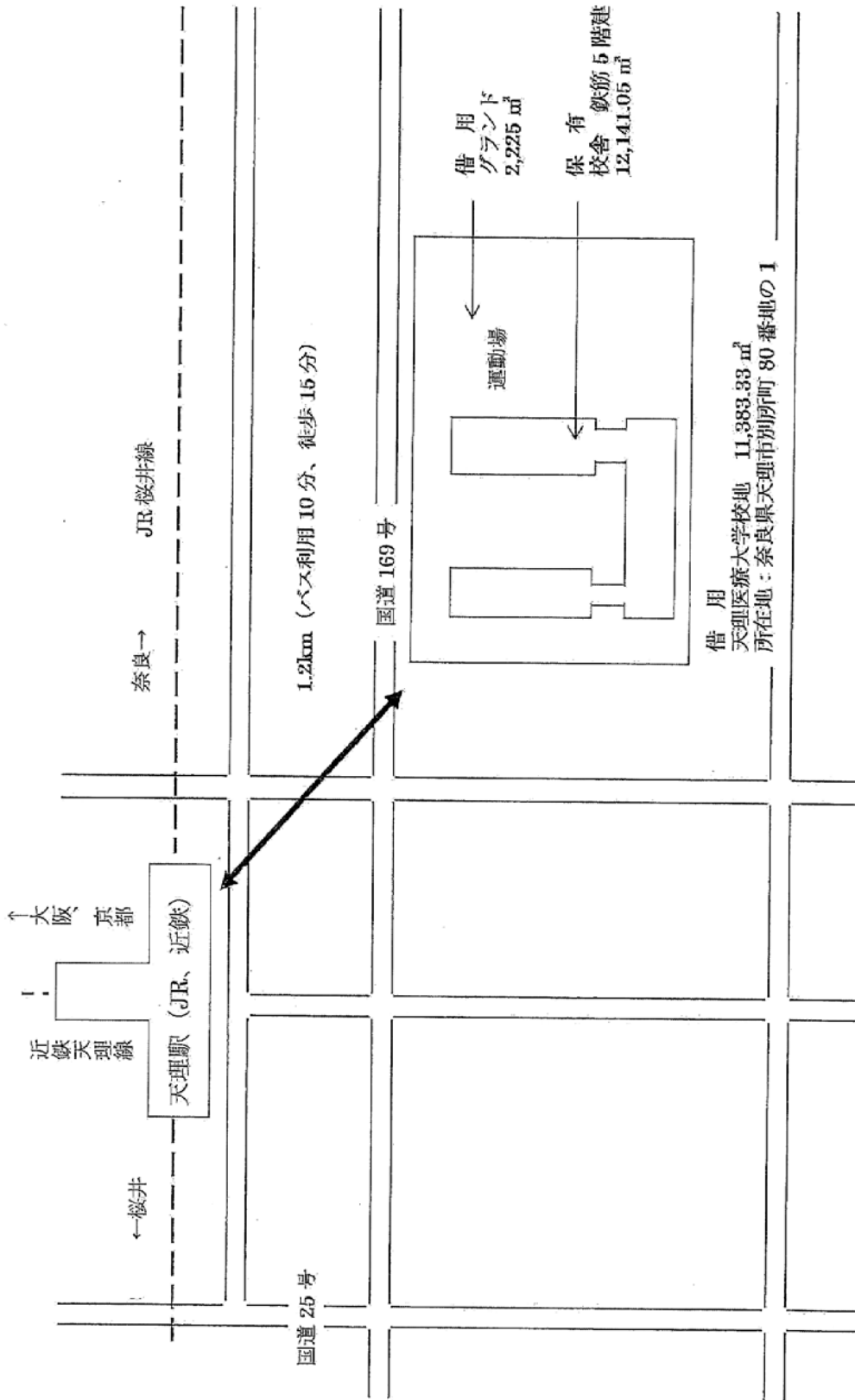
合計 (132科目)	—	114	45	20	—	115	26	44	3	0	兼107
学位又は称号	学士 (臨床検査学)	学位又は学科の分野				保健衛生学					
卒業要件及び履修方法						授業期間等					
						1 学年の学期区分			2 期		
						1 学期の授業期間			15 週		
						1 時限の授業時間			90 分		

(注)

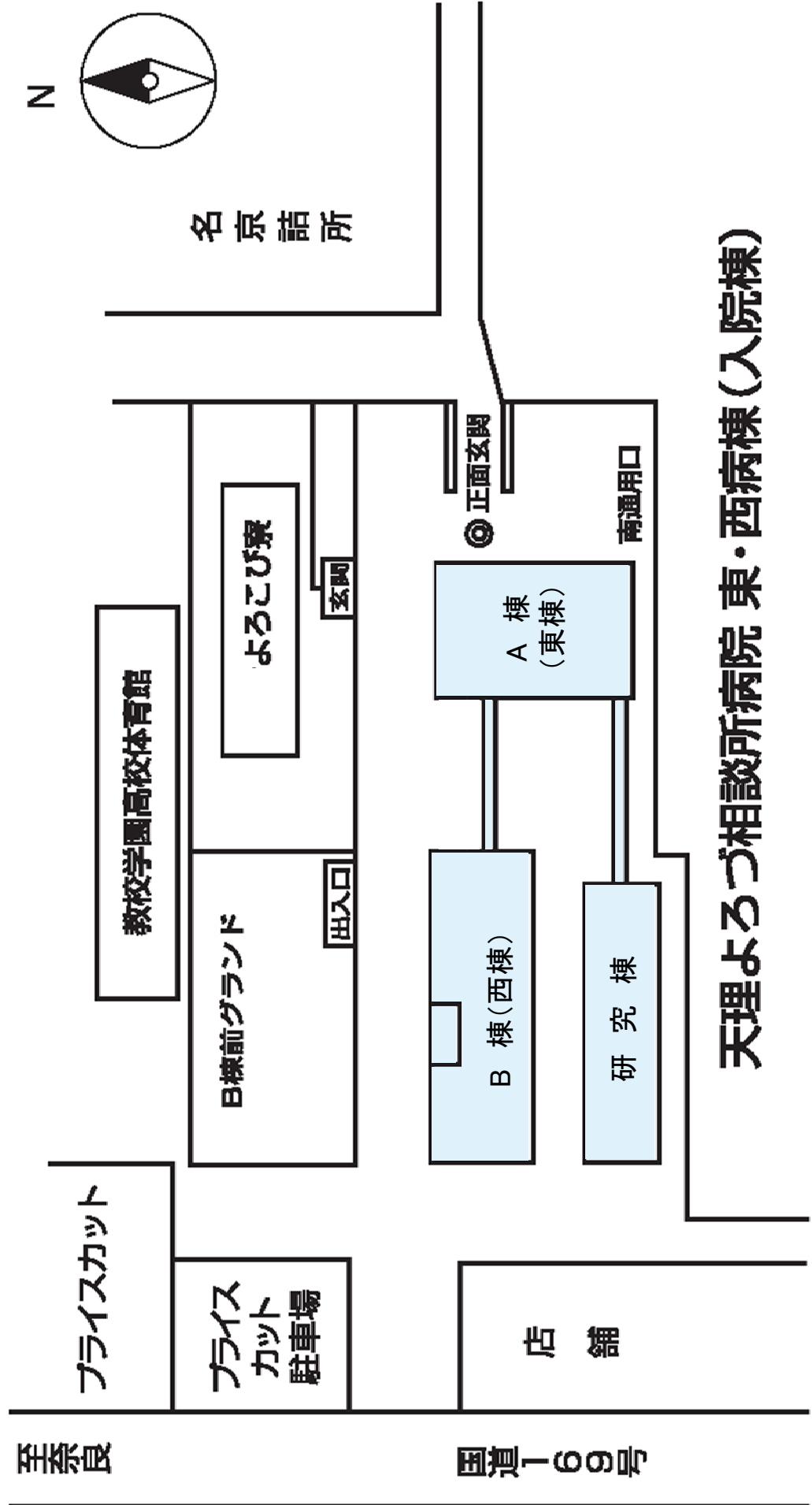
- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校¹の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校¹の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校¹の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。



②最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

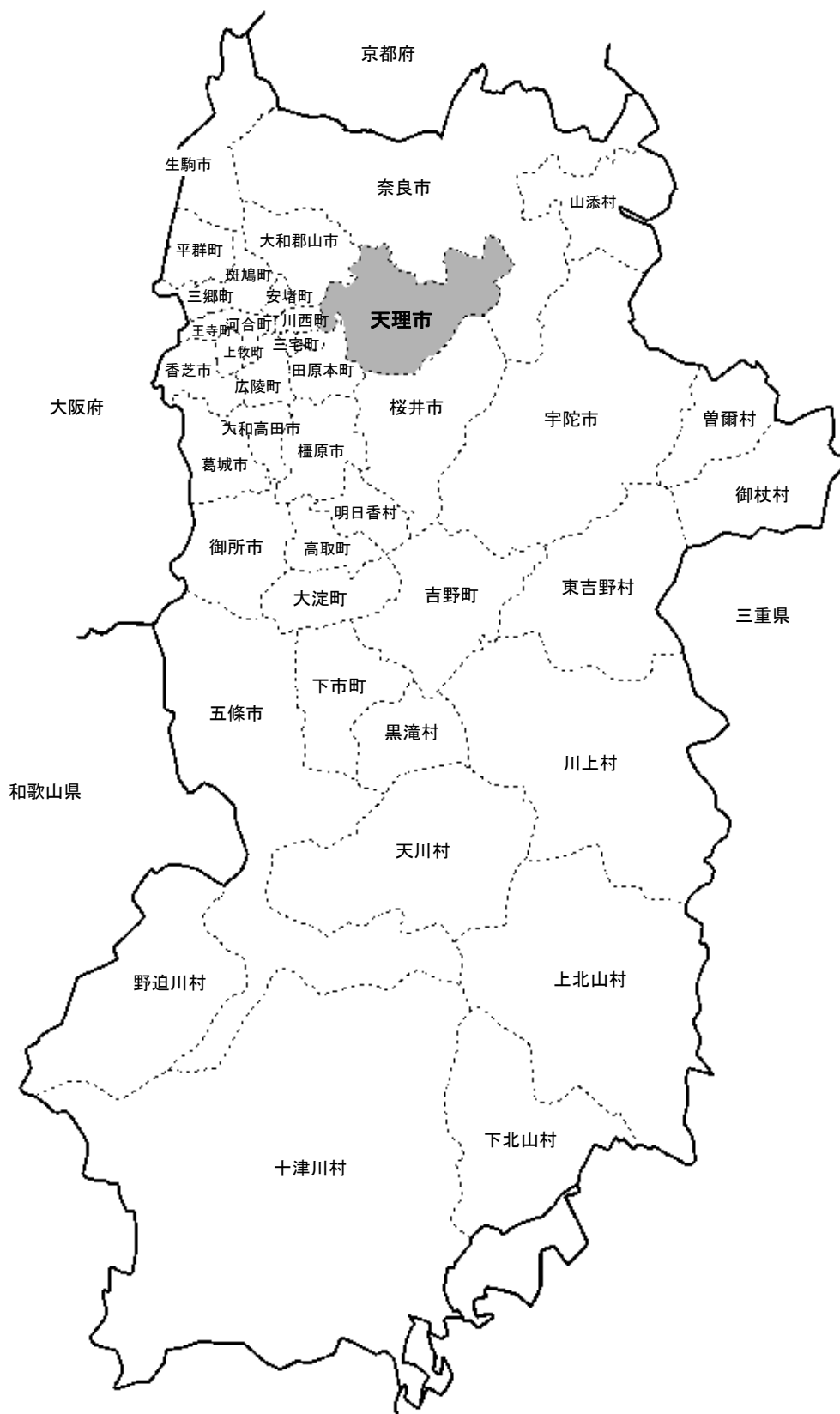


③校舎、運動場等の配置図



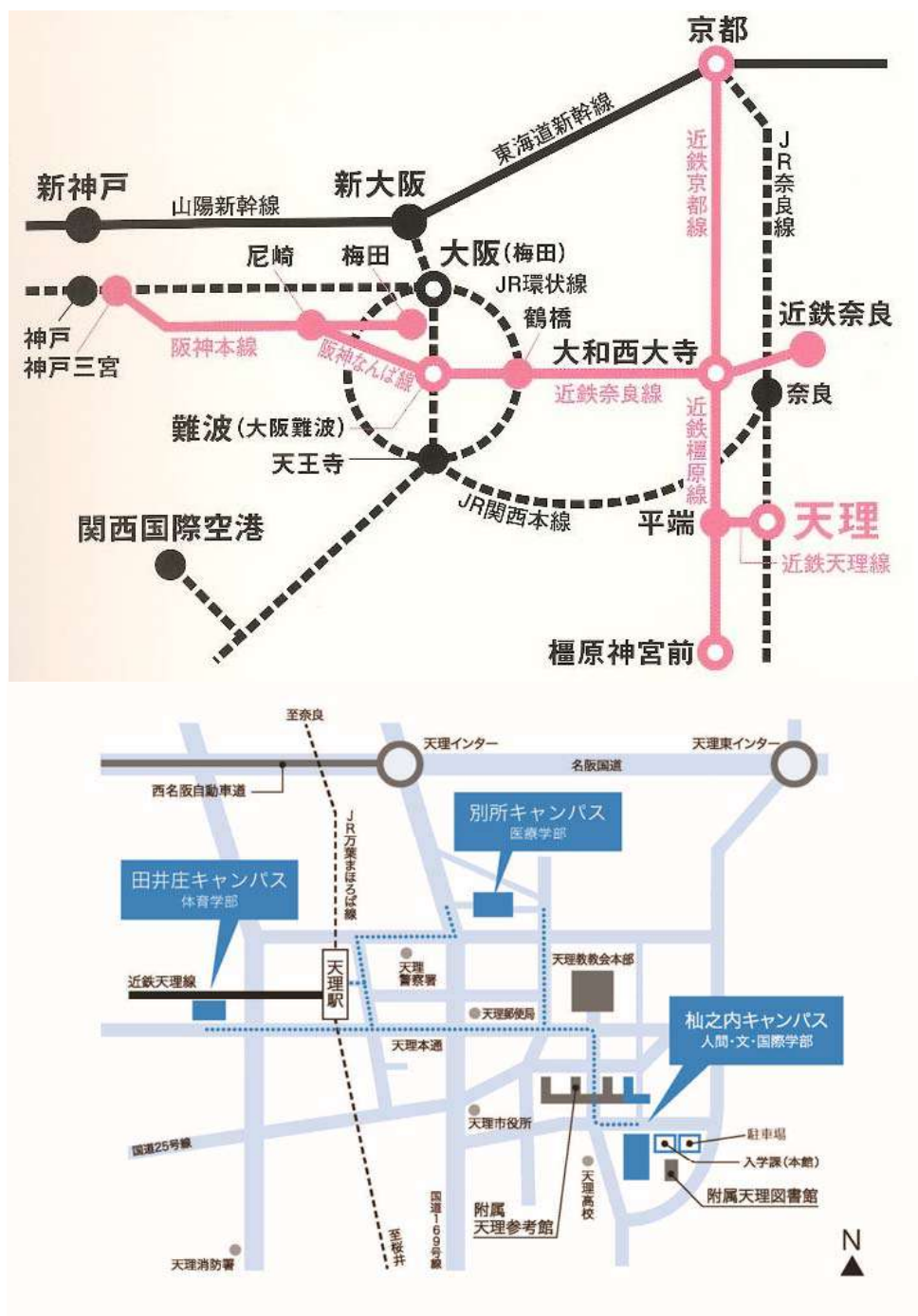
天理よろこび相談所病院 東・西病棟 (入院棟)

校地面積: 12,141.05㎡
 校舎面積: 11,383.33㎡



②最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

変更元大学



大学へのアクセス<天理駅から>

杣之内キャンパスへは

- ・通学バス(天理大学行)で約8分
- ・徒歩の場合 東へ約2km(約20分)

田井庄キャンパスへは

- ・徒歩 西へ約700m(約5分)

別所キャンパスへは

- ・徒歩 東へ約1.2km(約15分)
- ・バス利用で約10分

<大阪から>(所要時間約1時間)

近鉄奈良線「難波」駅より奈良行き(快速急行・急行)に乗車約35分、「大和西大寺」駅で下車。天理行き(急行)に乗車約20分、「天理」駅で下車。「大和西大寺」駅より橿原神宮前行きに乗車の場合は、「平端」駅下車、天理行きに乗り換え。

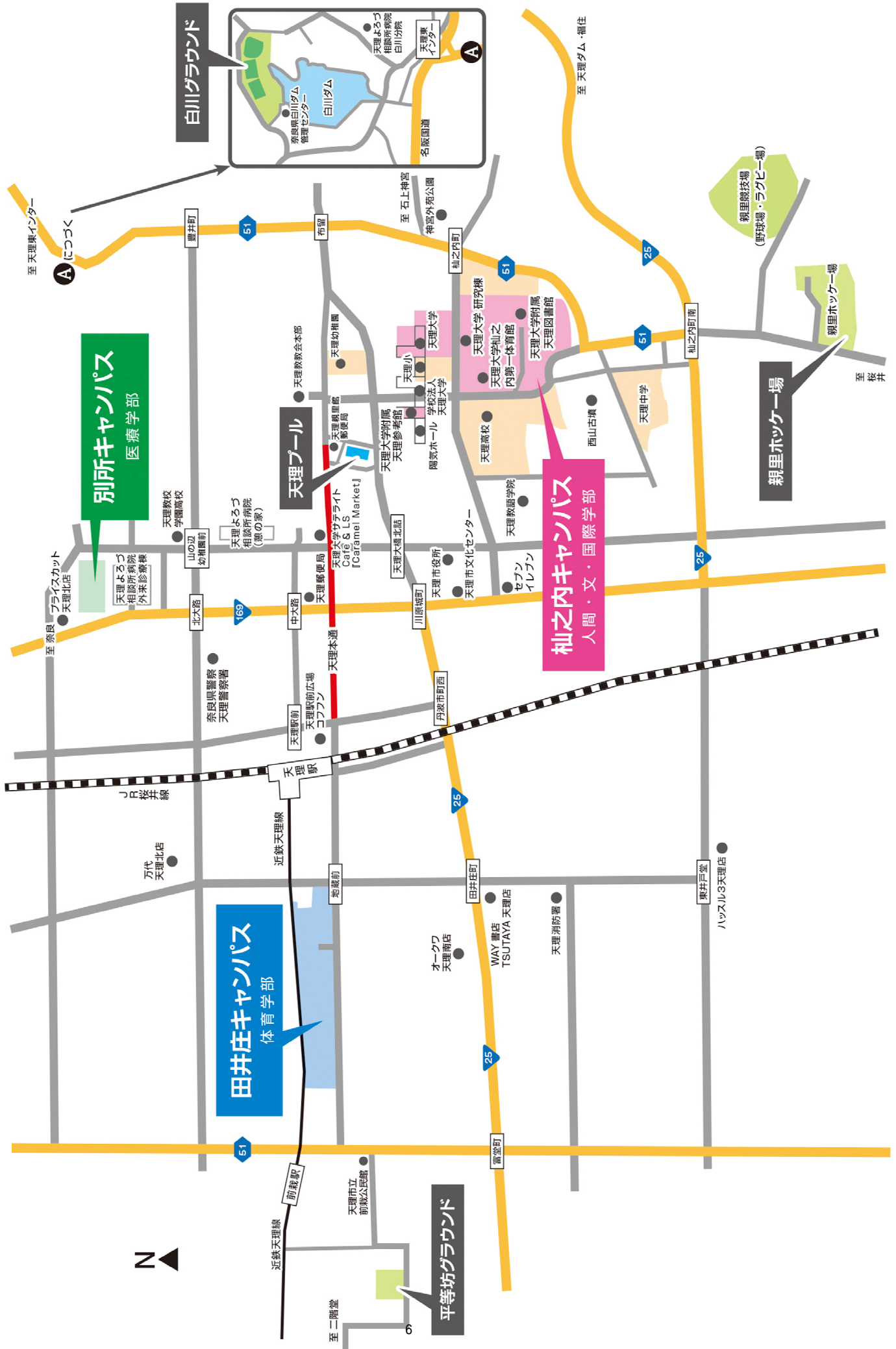
<京都から>(所要時間約1時間)

近鉄京都駅「京都」駅より天理行き(急行)に乗車約60分、「天理」駅で下車。「京都」駅より橿原神宮前行き(急行)に乗車の場合は、「平端」駅下車、天理行きに乗り換え。

<神戸から>(所要時間約1時間半)

阪神なんば線「三宮」駅より奈良行き(快速急行)に乗車約70分、近鉄奈良線「大和西大寺」駅で下車。「大和西大寺」駅より橿原神宮前行き(急行)に乗車の場合は、「平端」駅下車、天理行きに乗り換え。

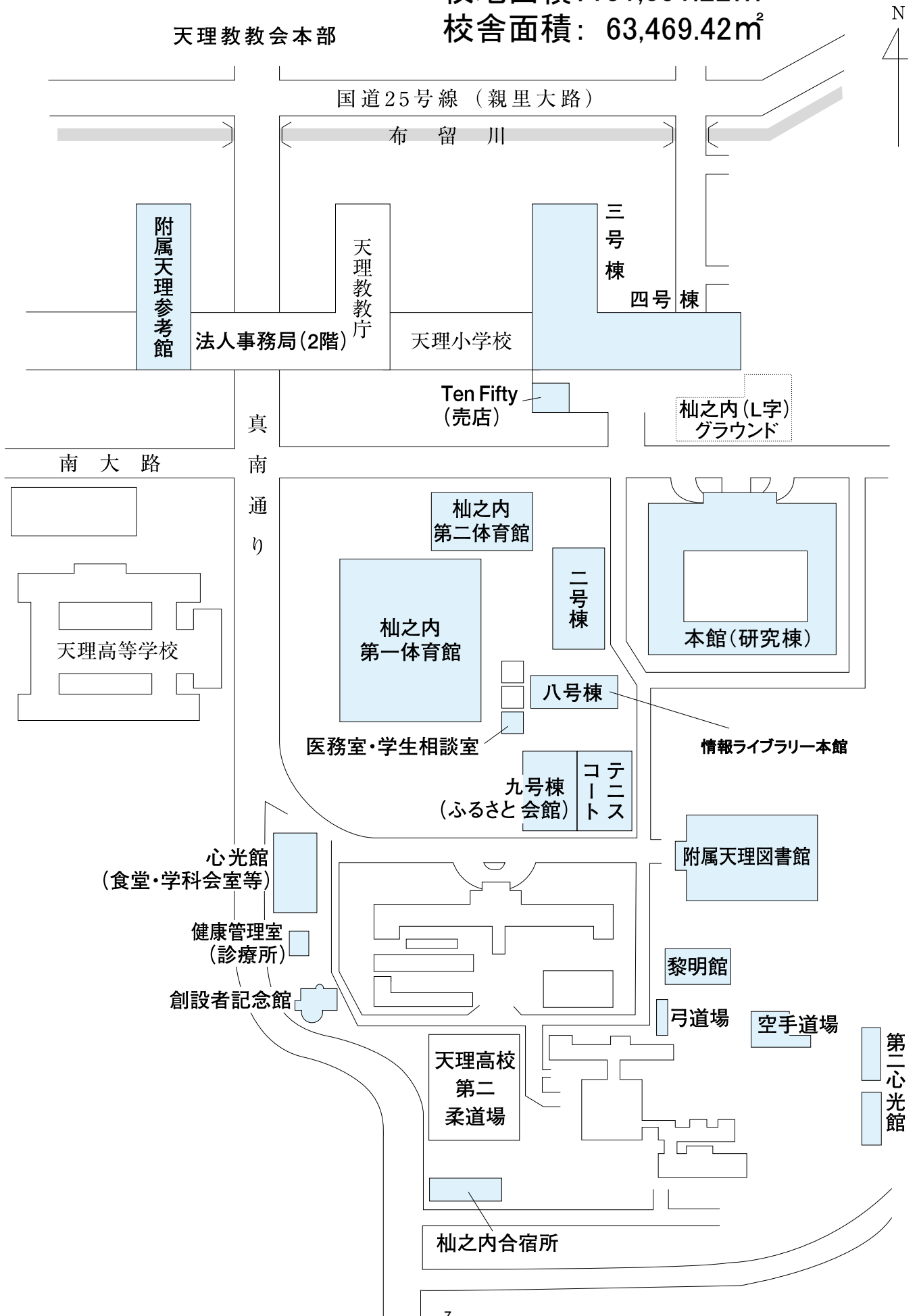
③校舎、運動場等の配置図



③校舎、運動場等の配置図
 杣之内キャンパス

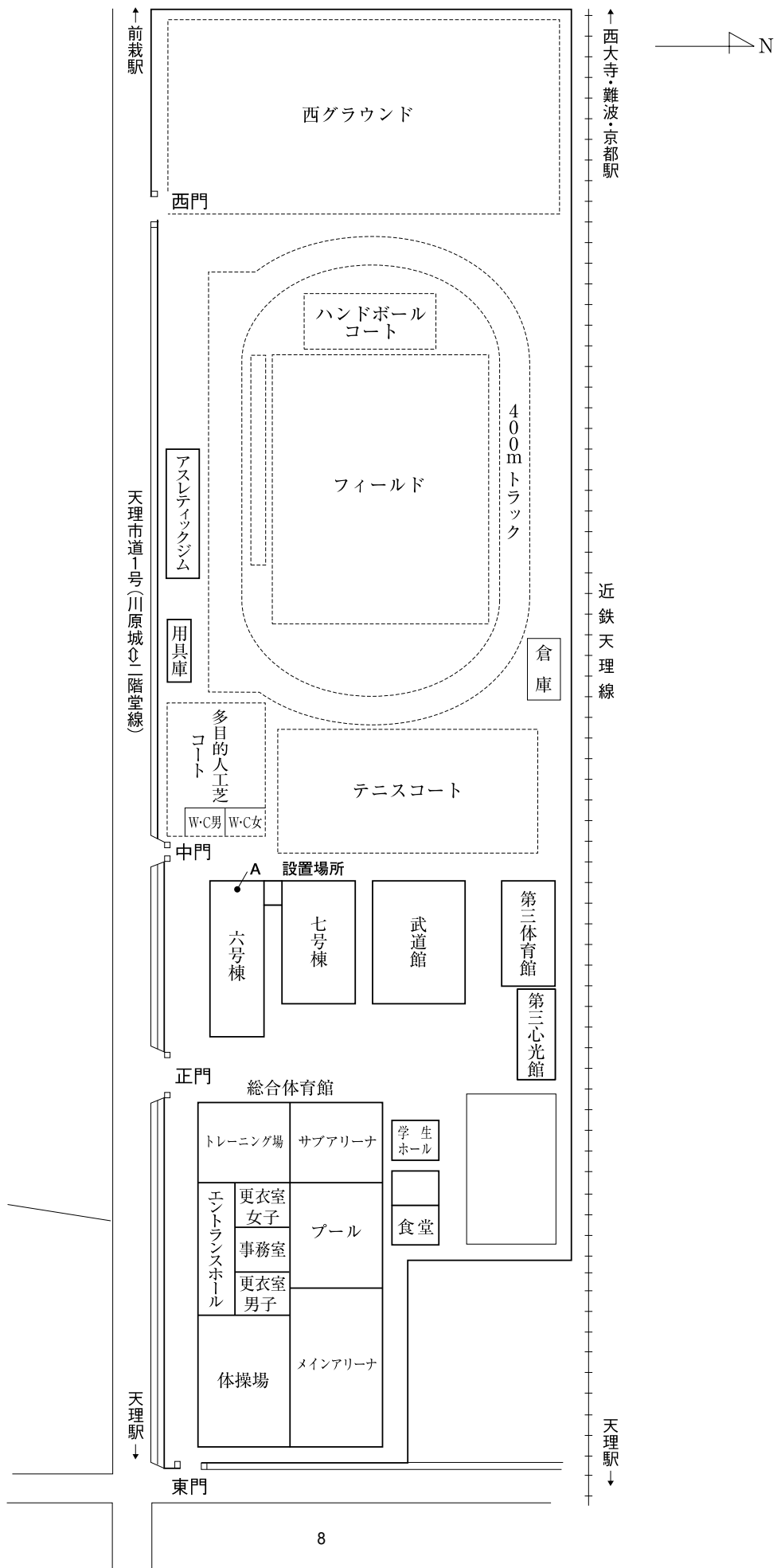
校地面積: 151,091.22m²

校舎面積: 63,469.42m²

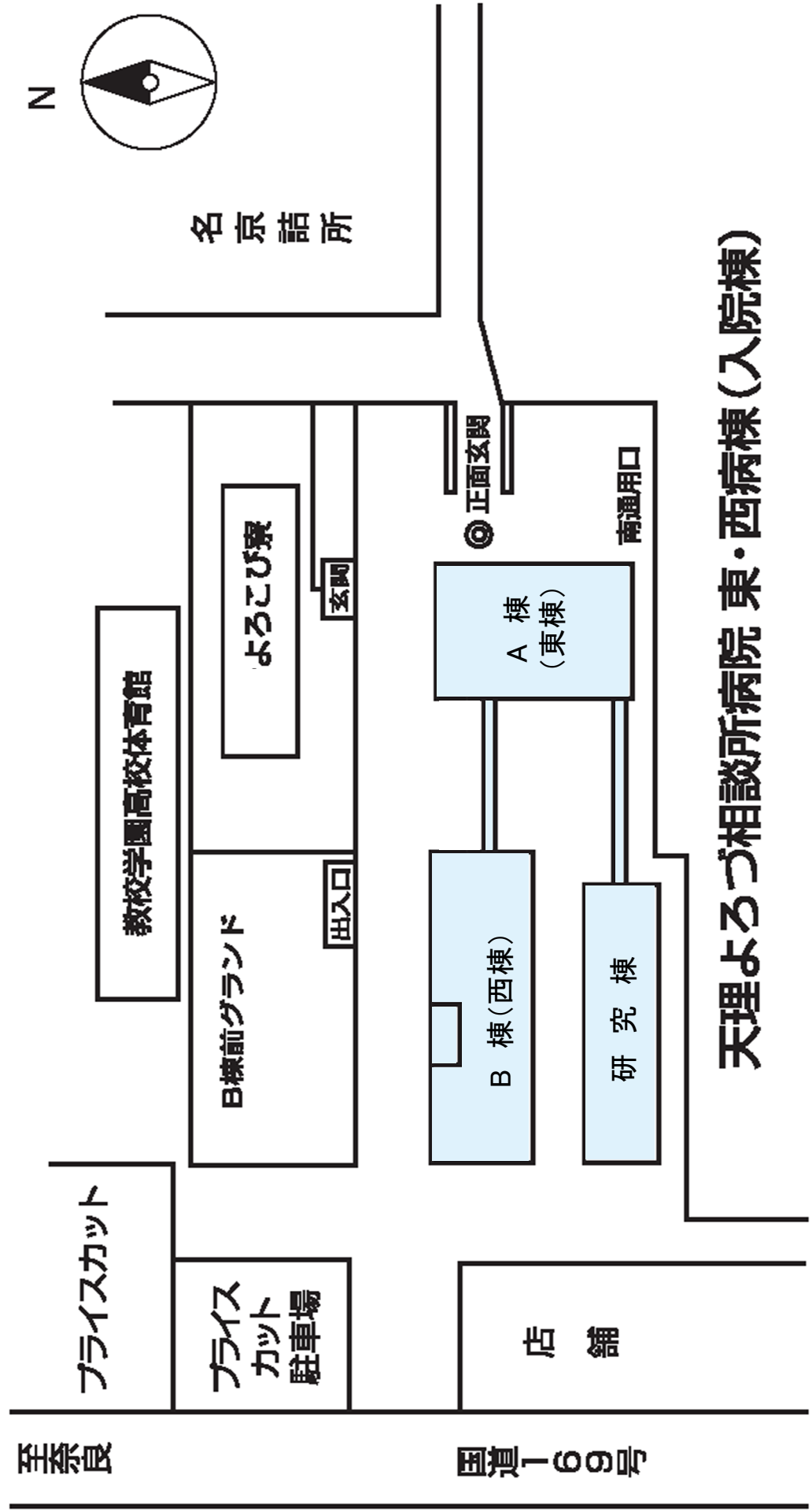


③校舎、運動場等の配置図
田井庄キャンパス

校地面積: 54,273.99m²
校舎面積: 5,973.74m²



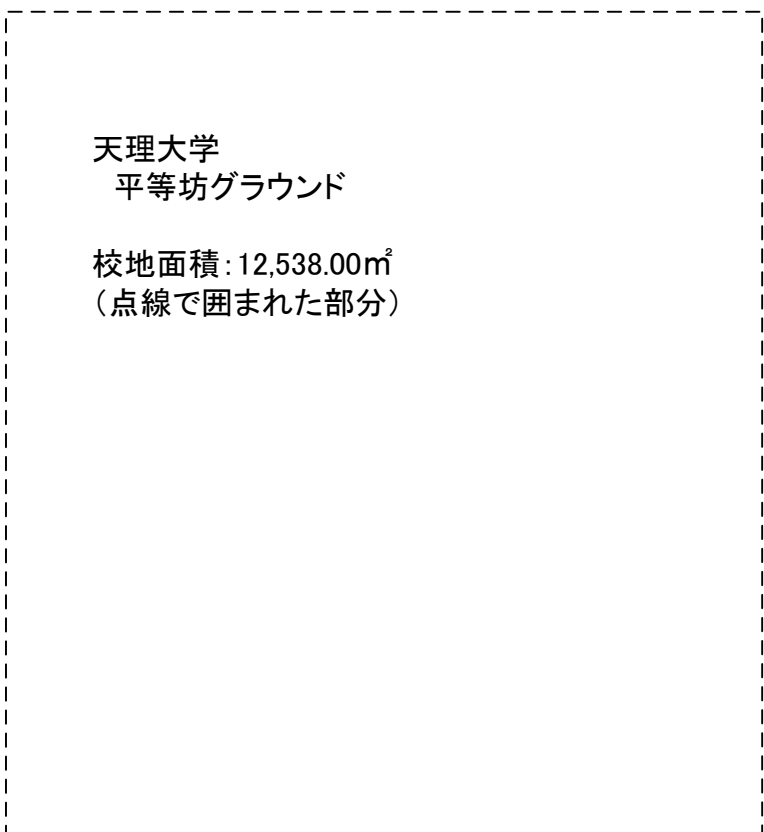
③校舎、運動場等の配置図
別所キャンパス



天理よろづ相談所病院 東・西病棟 (入院棟)

校地面積: 12,141.05㎡
校舎面積: 11,383.33㎡

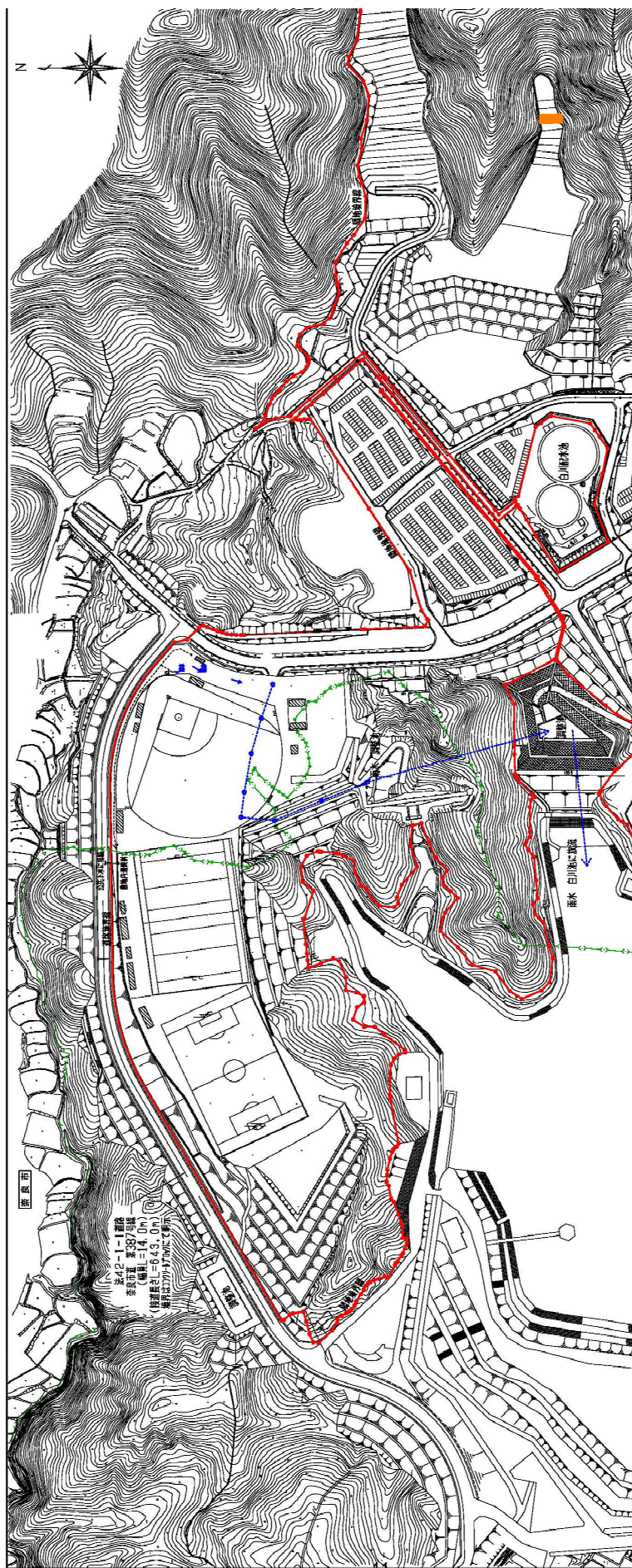
③校舎、運動場等の配置図
平等坊グラウンド



天理大学
平等坊グラウンド

校地面積: 12,538.00m²
(点線で囲まれた部分)

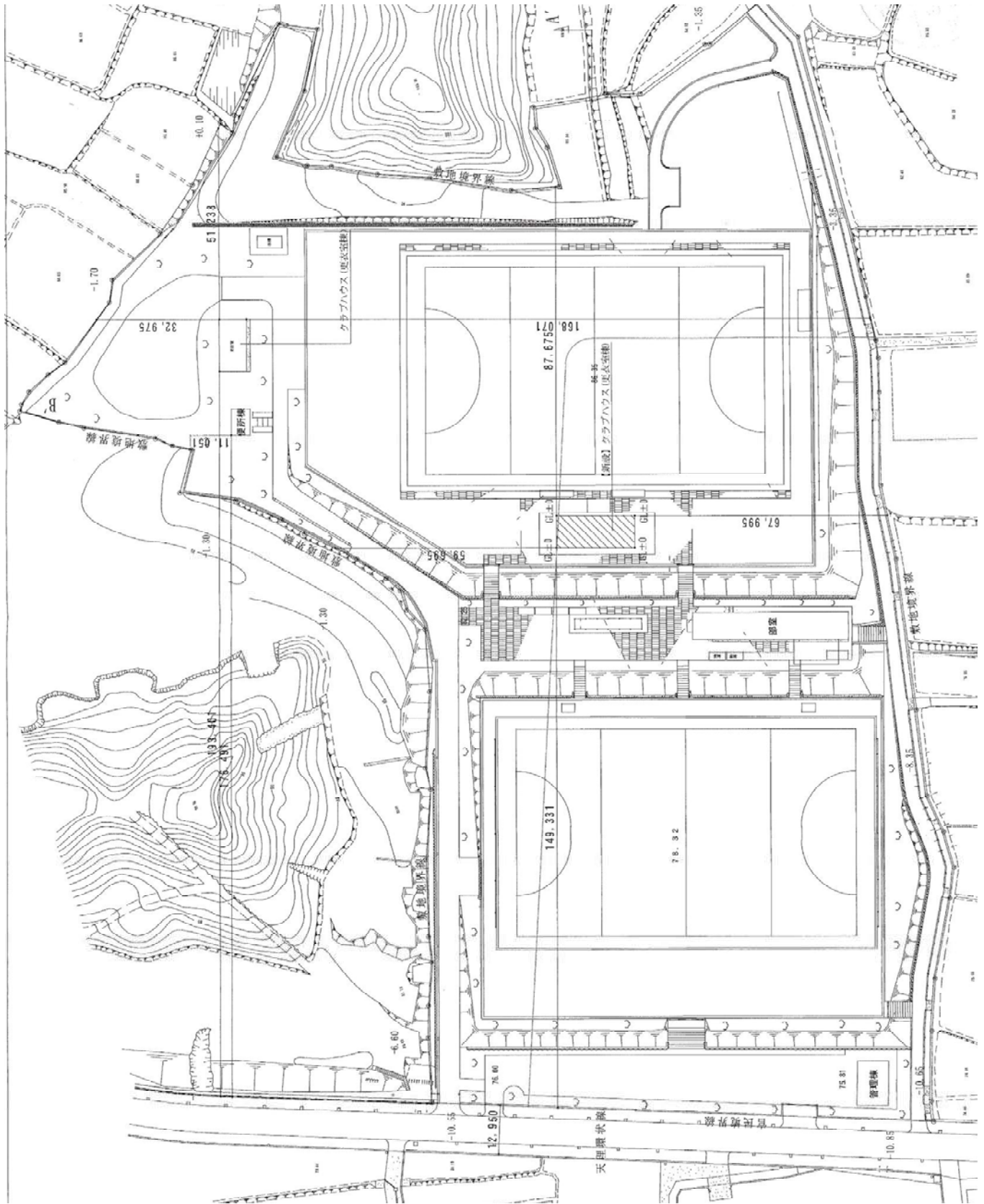
③校舎、運動場等の配置図
白川グラウンド

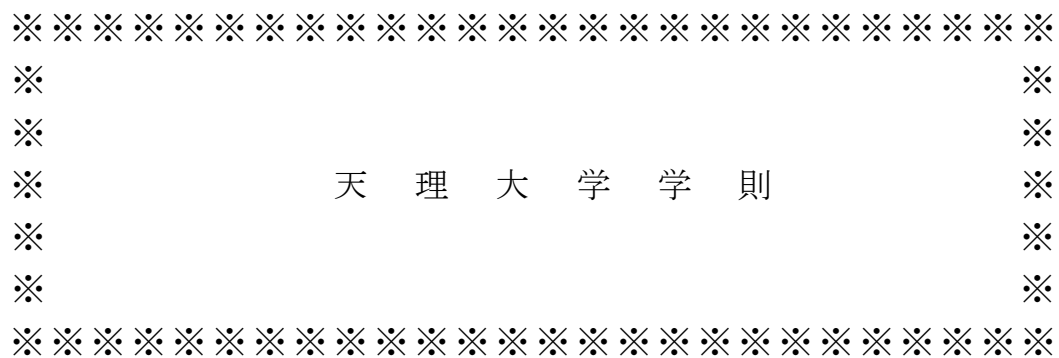


校地面積：60,638.00㎡

③校舎、運動場等の配置図
親里ホッケール場

校地面積：24,300.00㎡





天 理 大 学 学 則

令 和 5 年 4 月 改 正

第 1 章 総 則

第 1 条 本大学は、教育基本法および学校教育法に則り、天理教教義に基づいて、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、もって人類の福祉と文化の発展に貢献する人材、殊に世界布教に従事すべき者を育成することを目的とする。

第 1 条の 2 本大学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検評価を行う。

2. 前項の点検評価項目及び実施体制に関する規程は、別に定める。

第 1 条の 3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を行う。

第 2 条 本大学に、人間学部・文学部・国際学部・体育学部及び医療学部を置く。

2. 人間学部、つぎの学科及び専攻を置く。

(1) 宗 教 学 科

(2) 人間関係学科 臨床心理専攻、生涯教育専攻、社会福祉専攻

3. 文学部に、つぎの学科及び研究コースを置く。

(1) 国文学国語学科

(2) 歴史文化学科 歴史学研究コース、考古学・民俗学研究コース

4. 国際学部、つぎの学科、専攻及び研究コースを置く。

(1) 外国語学科 英米語専攻、中国語専攻、韓国・朝鮮語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

(2) 地域文化学科 アジア・オセアニア研究コース、ヨーロッパ・アフリカ研究コース、アメリカス研究コース、日本研究コース

5. 体育学部、つぎの学科を置く。

体 育 学 科

6. 医療学部、つぎの学科を置く。

(1) 看護学科

(2) 臨床検査学科

第 2 条の 2 各学部、学科、専攻の教育研究上の目的は、別表第 1 のとおりとする。

第 2 条の 3 本大学に、大学院を置く。

2. 大学院に関する規程は、別に定める。

第 3 条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
人間学部	宗 教 学 科	40名	160名
	人間関係学科		
	臨床心理専攻	30名	120名
	生涯教育専攻	20名	80名
	社会福祉専攻	30名	120名
文 学 部	国文学国語学科	40名	160名

	歴史文化学科	50名	200名
国際学部	外国語学科		
	英米語専攻	70名	280名
	中国語専攻	30名	120名
	韓国・朝鮮語専攻	30名	120名
	スペイン語・フランス語・ロシア語専攻	35名	140名
	地域文化学科	195名	780名
体育学部	体育学科	200名	800名
医療学部	看護学科	70名	280名
	医療検査学科	30名	120名

第 4 条 本大学各学部の修業年限は、4年とする。

第 5 条 本大学の人間学部に総合教育研究センターを置く。

第 5 条の2 本大学に国際交流センターを置く。

2. 本大学に情報ライブラリーを置く。

第 2 章 職員組織

第 6 条 本大学に学長を置く。

2. 学長は、校務を掌り所属職員を統督する。

3. 学長は、学内の諸会議体の審議結果を参酌した上で、法律が定める事項及び理事会から委任された教育・研究に関する事項を決定し実行する責任を負う。

第 7 条 本大学に副学長を置くことができる。

2. 副学長は、学長を助け、命を受けて校務を掌る。

第 8 条 本大学に学部長を置く。

2. 学部長は、当該学部の教授会を代表し、学部の運営にあたる。

第 9 条 本大学の学科、専攻、研究コース及び課程にそれぞれ主任を置き、主任は学科、専攻、研究コース及び課程の事務を処理する。

2. 本学のセンターにセンター長を置き、センター長はセンターの事務を処理する。

第 10 条 本大学に教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

2. 本大学に必要な応じ、特任教授、特任准教授、特任講師を置く。

3. 教員及び事務職員に関する規程は、別に定める。

第 11 条 事務組織は、事務職員によることを原則とするが、その事務の性質上、教員がこれを兼務することがある。

第 12 条 本大学各学部及び附属おやさと研究所に教授会を置く。

2. 教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教（特任教授、特任准教授、特任講師を除く）をもって組織する。
3. 各学部教授会は、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学部学生の入学および卒業に関する事項
 - (2) 学部学生の学位授与に関する事項
 - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
4. 各教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という）が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
5. 各学部教授会及び附属おやさと研究所教授会に関する規程は、別に定める。

第 13 条 本大学に、全学協議会を置く。

2. 全学協議会は、つぎの構成員をもって組織する。
 - (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 各学部長
 - (4) 各大学院研究科長
 - (5) 総合教育研究センター長
 - (6) 附属天理図書館長、附属おやさと研究所長および附属天理参考館長
 - (7) 各学部より選出されたつぎの者

人 間 学 部	教授	1 名
文 学 部	教授	1 名
国 際 学 部	教授	1 名
体 育 学 部	教授	1 名
医 療 学 部	教授	1 名
 - (8) 事務局長
 - (9) 事務部門の長のうち学長の指名する者 2 名
3. 全学協議会は、全学的な教育研究及び運営にかかわるつぎの事項について審議する。
 - (1) 学生の入学および卒業の方針に関する事項
 - (2) 学位授与の方針に関する事項
 - (3) 大学の研究組織、施設の設置・廃止及び制度、機構の整備・改変に関する事項
 - (4) 学則その他重要な規程の制定及び改廃に関する事項
 - (5) 名誉教授に関する事項
 - (6) 大学の教育研究上の目的を達成するための予算、人事等の基本計画に関する事項
 - (7) 教育課程編成の基本方針に関する事項
 - (8) 教育内容及び授業方法の改善に関する事項
 - (9) 学生の生活、厚生、進路等の指導・支援及び賞罰に関する事項
 - (10) 大学の自己点検・評価に関する事項

- (11) その他大学の教育研究及び運営に関する重要事項
4. 全学協議会に関する規程は、別に定める。

第 3 章 学年・学期及び休業日

第 14 条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第 15 条 学年をつぎの2学期に分ける。
春学期 4月1日から9月30日まで
秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

第 16 条 休業日は、つぎのとおりとする。

- (1) 日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (2) 天理教祭日 4月18日 10月26日 1月26日
- (3) 創立記念日 4月23日

2. 夏期休業。冬期休業、春期休業については、学長が全学協議会の議を経て定めることができる。
3. 学長は、必要があると認めるときは、前2項に掲げる休業日を変更することができるほか、臨時に休業日を置くことができる。
4. 学長は、必要があると認めるときは、休業日であっても授業を実施することができる。

第 4 章 教育課程

第 17 条 本大学の授業科目の区分は、総合教育科目及び専門教育科目とする。

第 18 条 本大学の授業科目及び単位は別表第2に定めるとおりとし、天理大学履修規則によって履修しなければならない。

第 18 条の2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第 19 条 授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内及び教室外をあわせて45時間とし、つぎの基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする
- (2) 実験・実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする
- (3) 1の授業科目について、講義、演習、実験・実習及び実技のうち2以上の方法の併用により行う場合は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮した時間の授業をもって1単位とする。

2. 前項の1単位の計算基礎となる授業時間については、教授会及び全学協議会の議を経て、学長がこれを決定する。

第20条 授業科目を履修し試験に合格した者には、所定の単位を与える。

第21条 授業科目の試験の成績は、A+・A・B・C・Fの5種の評語をもって表わし、A+・A・B・Cを合格とする。

第22条 本大学が教育上有益と認めるときは、別に定めるところにより他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2. 前項の規定は、本大学の協定または認定する外国の大学または短期大学に留学する場合及び外国の大学または短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第22条の2 本大学が教育上有益と認めるときは、短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

2. 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第23条 本大学が教育上有益と認めるときは、本大学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2. 本大学が教育上有益と認めるときは、本大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

3. 前2項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第22条第1項及び第2項並びに前条第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第24条 本大学を卒業し、教育職員免許法及び同施行規則に定める科目、単位を修得した者は、下表に示す教育職員免許状を取得することができる。

学 部 名	学 科 名	免 許 状 の 種 類	
		種 類	免 許 教 科
人 間 学 部	宗 教 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	宗 教
文 学 部	国文学国語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語

	歴史文化学科	中学校教諭一種免許状	社 会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
国 際 学 部	外国語学科 英米語専攻	中学校教諭一種免許状	英 語
		高等学校教諭一種免許状	
	外国語学科 中国語専攻	高等学校教諭一種免許状	中 国 語
体 育 学 部	体育学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	

第 25 条 本大学を卒業し、図書館法及び同施行規則に定める図書館に関する科目、単位を修得した者は、図書館司書となる資格を取得することができる。

第 26 条 教育職員免許状を取得した者で、学校図書館司書教諭講習規程に定める科目、単位を修得した者は、学校図書館司書教諭となる資格を取得することができる。

第 27 条 本大学を卒業し、博物館法及び同施行規則に定める博物館に関する科目、単位を修得した者は、博物館学芸員となる資格を取得することができる。

第 28 条 社会教育法及び社会教育主事講習等規程に定める社会教育に関する科目、単位を修得した者は、社会教育主事となる資格及び社会教育士の称号を取得することができる。

第 29 条 人間学部人間関係学科社会福祉専攻を卒業し、社会福祉士及び介護福祉士法及び同施行規則に定める科目、単位を修得した者は、社会福祉士の国家試験受験資格を取得することができる。

第 30 条 人間学部人間関係学科社会福祉専攻を卒業し、精神保健福祉士法及び同施行規則に定める科目、単位を取得した者は、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得することができる。

第 31 条 医療学部看護学科を卒業し、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める科目、単位を取得した者は、看護師国家試験受験資格を取得することができる。

第 32 条 医療学部臨床検査学科を卒業し、臨床検査技師等に関する法律に規定する学校として指定を受けた科目、単位を取得した者は、臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができる。

第 5 章 入学・留学・休学及び退学

第 33 条 入学期は、学年の始めとする。

第 34 条 第 1 年次に入学することのできる者は、つぎの各号の一に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者（中等教育学校の後期課程を含む）
- (2) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において、学校教育における 1 2 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行なう大学入学資格検定に合格した者
- (7) その他本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者

第 35 条 入学志願者に対しては、別に定めるところによって、選考を行なう。

第 36 条 入学志願者は、指定の期日までに所定の書類を提出し、別に定める検定料を納入しなければならない。

第 37 条 入学試験に合格した者で、指定の期日までに所定の誓約書（本人及び保証人の署名捺印を要す）等を提出し、入学金・授業料・教育設備充実費・その他を納入した者は、入学を許可する。

2. 前項の保証人は、父母（父母なき者はこれに代わる親族等）とする。

第 38 条 別に定めるところによって選考のうえ、編入学を認めることがある。

第 39 条 本大学在学中は、他学科に転ずることはできない。

第 40 条 学生が、本大学の協定または認定する外国の大学へ留学するときは、別に定めるところにより願い出なければならない。

第 40 条の 2 外国の大学に籍を置く外国人学生の受入れ及びその取扱いについては、別に定める。

第 41 条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により 2 ヶ月以上欠席するときは、本人及び保証人連署のうえ、学部長に願い出てその許可を得て休学することができる。ただし、疾病の場合は医師の診断書を添付しなければならない。

2. 前項の事由のある場合において、特に必要があると認められた者には、休学を命ずることができる。

3. 休学期間は当該年度以内とし、特別の事由がある場合は、別に定めるところによ

ってその期間延長を認めることができる。ただし、通算4年を超えることができない。

第42条 学生は、8年を超えて在学することはできない。

2. 前条の休学期間は、原則として在学年数に通算しない。

第43条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により退学するときは、本人及び保証人連署のうえ、学長に願い出て、その許可を得なければならない。

第6章 卒業および学位

第44条 4年以上在学し、つぎの各号に定める単位について、天理大学履修規則に定めるところにより修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、卒業証書を授与し、あわせて学士の学位を授与する。

- (1) 人間学部 124単位以上
- (2) 文学部 124単位以上
- (3) 国際学部 124単位以上
- (4) 体育学部 124単位以上
- (5) 医療学部 124単位以上

第45条 卒業期は、学年の終りとする。

第46条 本大学が授与する学士の学位に付記する専攻分野の名称は、つぎの各号に定めるとおりとする。

- | | | |
|----------|---|---|
| (1) 人間学部 | 宗 教 学 科
人間関係学科
臨床心理専攻
生涯教育専攻
社会福祉専攻 | 宗 教 学
臨床心理
生涯教育
社会福祉 |
| (2) 文学部 | 国文学国語学科
歴史文化学科 | 国 文 学
歴 史 文 化 |
| (3) 国際学部 | 外国語学科
英米語専攻
中国語専攻
韓国・朝鮮語専攻
スペイン語・ブラジル
ポルトガル語専攻
地域文化学科 | 英 語
中 国 語
韓国・朝鮮語
スペイン語または
ブラジルポルトガル語
地 域 文 化 |
| (4) 体育学部 | 体 育 学 科 | 体 育 学 |
| (5) 医療学部 | 看 護 学 科
臨床検査学科 | 看 護 学
臨 床 検 査 学 |

第7章 科目等履修生・特別聴講学生及び委託学生

第 47 条 本大学の学生以外の者で一または複数の授業科目の履修を希望する者（「科目等履修生」という）がある時は、当該授業科目所属の学科（課程を含む）において適当と認められた者につきこれを許可する。ただし、第 34 条の各号の一に該当する者に限る。

第 48 条 科目等履修生の願い出は学期始めとし、科目等履修生の就学期間は原則として、当該年度末までとする。

2. 年度を超えて引き続き科目等履修生として授業科目の履修を希望する者は、改めて願い出なければならない。

第 49 条 科目等履修生であって所定の科目試験に合格し単位認定を受けた場合は、請求により単位修得証明書を交付する。

第 50 条 科目等履修生のうち、つぎの各号に該当する者は、希望の授業科目を指定し、所定の手続きを経て許可を受けなければならない。

- (1) 教育職員免許法第 5 条に規定する基礎資格を有し、教育職員免許法及び同施行規則により教育職員免許状を得ようとする者
- (2) 学士の学位を有し、図書館法第 5 条第 1 項第 1 号の規定による司書となる資格を得ようとする者
- (3) 教育職員免許状を有し、学校図書館司書教諭講習規程第 3 条及び附則第 3 項の規定による学校図書館司書教諭となる資格を得ようとする者
- (4) 学士の学位を有し、博物館法第 5 条第 1 項第 1 号の規定による学芸員となる資格を得ようとする者
- (5) 社会教育法第 9 条の 4 第 1 項第 3 号の規定による社会教育主事となる資格を得ようとする者

第 50 条の 2 他の大学または短期大学との協議に基づき、当該大学に在学中の学生で本大学の授業科目の履修を希望する者がある時は、別に定めるところにより、特別聴講学生としてこれを認めることができる。

第 51 条 官庁または公共団体から、1 年以上を在学期間として受講科目を定めて入学を願い出た場合は、選考のうえ委託学生として入学を許可することがある。

第 52 条 委託学生であって、所定の科目を修めその試験に合格した者には、修了証書を授与する。

第 53 条 科目等履修生、特別聴講学生及び委託学生には、別に定めるものを除くほか本学則を準用する。

第 8 章 入学金・授業料・教育設備充実費・その他

第 54 条 入学金・授業料・教育設備充実費は別表第 3 に定めるとおりとし、その納入及びその他については別に定める。

第 55 条 前条に定める入学金・授業料・教育設備充実費・その他は、所定の期日までに納入しなければならない。ただし、「大学等における修学の支援に関する法律」による授業料等減免対象者と認定された者については、別に定める。

第 56 条 既に納入した第 54 条に定める入学金・授業料・教育設備充実費・その他は返還しない。ただし、前条に定める授業料等減免対象者と認定された入学者については、減免対象となる入学金・授業料を返還する。

第 57 条 休学を許可された者及び命ぜられた者についての授業料・教育設備充実費・その他は別に定める。

第 58 条 学年の途中において退学する者は、退学の日の属する学期分の授業料・教育設備充実費・その他を納入しなければならない。

第 59 条 正当な理由なく第 54 条に定める授業料・教育設備充実費・その他を所定の期日までに納入しない者は除籍する。

第 9 章 賞 罰

第 60 条 学生で優秀な研究をした者、または他の学生の範となるべき行為をした者に対して、学長は、教授会及び全学協議会の意見を徴し、これを褒賞することができる。

第 61 条 学生にその本分に反する行為のあったときは、教授会及び全学協議会の議を経て、学長が懲戒する。

2. 懲戒は、譴責、停学、退学とする。

第 62 条 つぎの各号の一に該当する者には、教授会及び全学協議会の議を経て、学長が退学を命ずることがある。

(1) 性行不良で改善の見込みがない認められる者

(2) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 10 章 別 科

第 63 条 本大学に別科（日本語課程、外国語課程）を置く。

2. 別科に関する規程は、別に定める。

第 11 章 附属施設

第 64 条 本大学に天理図書館、おやさと研究所及び天理参考館を付設する。

2. 附属施設に関する規程は、別に定める。

第 65 条 学寮を設け一部学生を入寮させる。

第 12 章 公開講座

第 66 条 地域社会への研究成果の還元と文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設することができる。

附 則

本学則は、昭和24年4月1日から施行する。

附 則

朝鮮文学朝鮮語学科は、昭和25年4月から開設する。

附 則

司書養成課程は、昭和26年4月から実施する。

附 則

学部学科の変更に伴う学則の改正は、昭和27年から実施する。

附 則

選科生に関する規程は、昭和27年4月から実施する。

附 則

体育学部体育学科は、昭和30年4月から開設する。

附 則

本学則は、昭和32年4月から施行する。

附 則

本学則は、昭和33年4月から施行する。

附 則

本学則は、昭和35年4月から施行する。

附 則

本学則は、昭和37年4月から施行する。ただし、第31条ただし書については、昭和38年4月から施行する。

附 則

本学則は、昭和40年4月から施行する。

附 則

本学則は、昭和43年10月から施行する。

附 則

本学則は、昭和44年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、なお従前の例による。

附 則

本学則は、昭和46年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和48年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和50年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和51年4月から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和52年4月から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和56年4月から施行する。

附 則

本学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生については、平成2年度に第1年次に入学した学生を除き従前の例による。

附 則

本学則は、平成3年12月5日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生については、別に定めるもののほか従前の例による。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
体 育 学 部	体 育 学 科	220名

附 則

本学則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した

学生の授業科目の履修及び単位の修得については、平成4年度に第1年次に入学した学生を除き従前の例による。

附 則

本学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成6年5月18日から施行する。

附 則

本学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第18条別表第1については、平成3年度以前に入学した学生は従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成7年11月17日から施行する。
- 2 第35条の規定にかかわらず、平成3年度以前に入学した文学部宗教学科及び外国語学部各学科の学生については、別に定めるところにより、他学部・学科・専攻に転ずることができる。

附 則

本学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成9年6月5日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成15年度までの入学定員及び平成12年度から平成18年度までの収容定員は、つぎのとおりとする。

学 部	学 科	年 度	入学定員	収容定員
体育学部	体育学科	12年度	210名	870名
		13年度	200名	850名
		14年度	190名	820名
		15年度	180名	780名
		16年度	170名	740名
		17年度	170名	710名
		18年度	170名	690名

3 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修および単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成15年5月14日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成17年4月1日から施行する。ただし、平成14年度以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、従前の例による。

附 則

本学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例

による。

附 則

本学則は、平成25年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成21年度以前入学生にあつては、従前の例による。

附 則

本学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

文学部歴史文化学科の収容定員の変更に係る改正学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

言語教育研究センターの廃止並びに教育設備充実費の改定に係る改正学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の教育設備充実費については、従前の例による。

附 則

本学則は、令和2年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の教育設備充実費については、従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。
- 3 本改正学則施行以前に入学した学生の教育設備充実費については、従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。
- 3 本改正学則施行以前に入学した学生の入学金及び授業料については、従前の例による。

附 則

本学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した医療学部学生の学納金（授業料及び教育設備充実費（令和5年4月1日付で天理医療大学から転籍した学生においては教育充実費を読み替えるものとする。））については、従前の例による。

別表第1（第2条の2関係）

学 部 学 科 専 攻	目 的
人間学部	人間学部は、「陽気ぐらし」世界の建設を掲げる建学の精神を人間の全体性回復に生かし、細分化した現代の学問体系を見直すことを理念として設立されている。そのため、宗教学的・哲学的探求を通して全体性の回復を目指す宗教学科と、臨床心理・生涯教育・社会福祉の3分野にわたる実践的なアプローチを通してその回復を目指す人間関係学科の2学科を開設し、建学の精神を具現化するため、国の内外で「他者への献身」に邁進できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。
人間学部 宗教学科	宗教学と天理教学の理論、および現代世界をとりまく多様な宗教状況をひろく学ぶことを通じて、ものごとに多面的に対応できる資質と能力を修得させ、同時に、建学の精神にもとづいて、国の内外で社会に貢献する実践的意欲をそなえた人材を養成することを教育研究上の目的とする。
人間学部 人間関係学科	各専攻の特徴を生かし、人間や社会に対する幅広い関心のもと、臨床心理、生涯教育、社会福祉についての専門的知識や技能を基礎から応用までしっかりと修得させるとともに、さまざまな資格を取得して社会で実践的に活躍できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。
人間学部 人間関係学科 臨床心理専攻	現代社会に起きているさまざまな心の現象を幅ひろい視点から理解するために必要な基礎知識と能力を修得させることを通じて、臨床心理士をはじめ、諸問題の解決に向けた社会活動に実践的に取り組むことのできる人材を養成することを教育研究上の目的とする。
人間学部 人間関係学科 生涯教育専攻	社会教育や学校教育、地域社会など、さまざまな場面における教育実践活動の理論と技術を修得させるとともに、学習支援活動という対人的交流を通じた自己能力の向上を体験させることを通じて、これからの生涯学習社会を担える人材を養成することを教育研究上の目的とする。
人間学部 人間関係学科 社会福祉専攻	社会福祉のプロフェッショナルとして必要な、理念への理解、現場に関する専門的知識、福祉活動をめぐる諸技能等を修得させ、社会福祉施設や機関、団体、病院等で活躍できる人材を養成すると同時に、福祉への視点と理解をもつ市民をひろく育成することを教育研究上の目的とする。
文学部	他者理解の基礎であり未来に伝えてゆくべき遺産である言語・文学・歴史・文化を対象として、広く深い学識、真実を探究する方法、自ら学び伝える力を養い、それとともに、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに世界に貢献する資質を身につけさせる。そのため、日本語・日本文学を研究し、また日本語表現能力を磨く国文学国語学科と、歴史・考古・民俗資料を研究し活用する歴史文化学科の2学科を設ける。かくて文学部は、国際的視野をもって「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。
文学部 国文学国語学科	天理教教義に関わる文献を研究し、立教当時の言語生活を解明する。また、文学作品や言語資料の考察を通し、国文学と国語学の知識を、基礎から高度な専門領域まで段階的・組織的に修得し、日本文化の幅広い理解のもとに、国際的な視野を持つ人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学 部 学 科 専 攻	目 的
文学部 歴史文化学科	歴史学・考古学・民俗学に立脚しながら、地域に根ざした歴史認識を養い、国際的視野に立った時代や文化の理解をめざす。また、歴史文化に関わる資料の調査・記録能力を修得し、自主的な学びと正しく伝える力を身につける。これらの知識や能力を活用し、教育や文化財に関わる仕事を通して地域社会に寄与する専門的職業人と、歴史文化に学びつつ現代社会に貢献する教養ある社会人の養成を教育研究上の目的とする。
国際学部	現代世界が直面する諸課題を、地球的な視野から理解し判断する能力を養い、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに国際社会へ積極的に参加する資質を身につけさせる。そのため、国際人に必須の高度な語学力の習得に重点を置く「外国語学科」と、地域言語を習得しながら、自ら参加し行動する実践教育を通して、広域地域における異文化共存についての理解に重点を置く「地域文化学科」の2学科を設ける。かくて国際学部は、利他の精神を身につけた真の国際人として世界に雄飛し「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。
国際学部 外国語学科	英米語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語・ブラジルポルトガル語を専攻語とする4専攻を設け、建学以来培ってきた「天理メソッド」により語学力を徹底して鍛えることに主眼を置く。さらに、留学や語学実習、各種プログラムによる実地体験も加えて、語学力の完成度を高めつつ、専攻する言語の国や地域の歴史、文化についての理解を深めさせ、国際学部が目指す人材の養成を教育研究上の目的とする。
国際学部 外国語学科 英米語専攻	英米語専攻は、今や事実上の国際共通語となっている英語を集中的に学習し、留学や語学実習において語学力を確実なものにさせる。クラスは習熟度別編成を行い、それぞれの目標レベルに向かって学習・習得させる。加えて当該地域の文化・社会などを多面的に英語によって学ばせ、国際社会で活躍できる人材を養成するのが英米語専攻である。
国際学部 外国語学科 中国語専攻	中国語専攻は、国際的な視野を有し、国際社会に対応できる人材の育成をはかるための実践的な中国語教育を行う。本学の中国語学習は、学習レベルに応じて体系化したカリキュラムに基づき、高度な中国語運用能力を養成する。さらに実り豊かな留学・海外語学実習を通じて、異文化理解の能力を身につけさせ、国際社会で活躍できる人材を養成するのが中国語専攻である。
国際学部 外国語学科 韓国・朝鮮語専攻	韓国・朝鮮語専攻は、本学創設当初から90年を越す長い歴史の中で培われてきた実績を基に、実践的な韓国・朝鮮語教育を行う。日本語とことばのしくみが類似している韓国・朝鮮語をスピーディーかつ体系的に習得するうえから、聴解力および発話力と正確な読み書きの運用能力を養うための文法教育を徹底して行う。さらに朝鮮半島の歴史と文化を日本と諸外国との関係の中で学ぶことによって、国際社会で活躍できる人材を養成するのが韓国・朝鮮語専攻である。

学 部 学 科 専 攻	目 的
国際学部 外国語学科 スペイン語・ブラジ ルポルトガル語専攻	スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻では、本学語学教育の伝統に培われた少人数制メソッドを基に、実践的・有機的な専攻語教育を行う。ローマ字読みにも発音が近く、日本語話者にとってなじみやすい外国語である両専攻語の段階履修で基本4技能(聞く/話す/読む/書く)を錬成する。関連地域の言語文化・歴史社会・芸術等についても専門知識を涵養することによって、国際社会に対応・活躍できる人材を育成するのがスペイン語・ブラジルポルトガル語専攻である。
国際学部 地域文化学科	本学独自の国際研究の視座から、世界をアジア・オセアニア、ヨーロッパ・アフリカ、アメリカスという地球を縦割りにした3地域に分け、これに日本を加えたいうで地球規模に拡大した東西間・南北間の相互作用の動静を、広い射程と複眼的な方法で学ばせる。さらに、本学が蓄積してきた多様な地域言語文化の教育・研究実績を活かし、各地域の10言語から地域言語を選択し習得させるとともに、関心ある地域や国家を自らの研究拠点と定め、留学や海外での実践教育(国際参加プロジェクトなど)に参加させる。加えて、各種プログラムを修得させることによって、国際学部が目指す人材の養成を教育研究上の目的とする。
体育学部 体育学科	「陽気ぐらし」世界の建設に寄与せんとする建学の精神を具現化するために、「他者への献身」の精神を涵養し、身体についての科学的な認識を深めるとともに、国際的な視野に立ってスポーツの意義や可能性を探究することを教育研究上の目的とし、以下のような人材を育成する。①スポーツにおける高度な競技能力・指導能力を有する人材。②子ども達への深い理解をもった教育能力の高い学校体育教員。③スポーツの新たな可能性を追求し、スポーツ文化の創造に寄与できる人材。④人々の健康の維持・増進に貢献できる人材。⑤日本の伝統文化である武道を正しく継承し、世界に発信できる人材。
医療学部	人に尽くすことを自らのよるこびとするという天理教の理念を基調として、社会人としての豊かな知識を持ち、医療に関わる専門性の高い技術・技能を習得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を胸に秘めた人材を育成することを目的とする。
医療学部 看護学科	幅広い教養と深い専門的素養を持ち、「サイエンス(科学的な看護学の知識)」、「アート(看護実践能力)」、「ヒューマニティ(ケアの心)」の3つを兼ね備えた看護師の育成を目指す。 1. ヒューマニティとアートの統合としての「人に尽くす」看護の探究 2. サイエンスとアートを統合し、あらゆる健康レベル、看護ニーズに応じた看護実践力の育成 3. 異なる学科、学年との協働的学習による関連多職種と協働する能力の育成

<p>医療学部 臨床検査学科</p>	<p>臨床検査学科として探求し教育する学問分野は、形態検査（血液検査、病理検査など）、生物化学分析検査（生化学検査、遺伝検査、尿・体液検査など）、病因・生体防御検査（免疫検査、微生物検査、輸血・移植検査など）等の検体検査、そして患者さんから直接的に生体情報を収集する超音波検査、心電図検査、脳波検査、筋電図検査、MR検査等の生体機能検査などがある。また臨床検査を実践するために必要な情報処理、精度保証、検査情報システム、医用工学等のいわゆる検査総合管理学、そして検査データの判読方法（病態解析）、臨床研究の方法、感染対策・栄養管理等への臨床検査の応用についても学ぶ。卒業後に、医療施設、検査センター、試薬・機器の製造開発メーカー、研究所等でも活躍ができるような基本的知識と技能を身につけることを目的とする。</p>
------------------------	---

別表第2（第18条関係）

（1）総合教育科目

天理教科目

科 目 名	単 位	
	必修	選択
天理教学A 1		2
天理教学A 2		2
天理教学B 1		2
天理教学B 2		2
天理教学C 1		2
天理教学C 2		2

建学の精神科目

科 目 名	単 位	
	必修	選択
建学の精神と現代社会	2	

基礎教育科目 基礎ゼミナール

科 目 名	単 位	
	必修	選択
基礎ゼミナール	2	

基礎教育科目 英語

科 目 名	単 位	
	必修	選択
英語 A 1	1	
英語 A 2	1	
英語 B 1	1	
英語 B 2	1	

基礎教育科目 健康スポーツ

科 目 名	単 位	
	必修	選択
健康スポーツ科学 1		2
健康スポーツ科学 2		2

基礎教育科目 リメディアル科目

科 目 名	単 位	
	必修	選択
基礎からわかるレポート作成		2
基礎からわかる近代史		2
基礎からわかる現代世界		2
基礎からわかる数学		2
基礎からわかる生物・化学		2
コンピュータ入門		2

教養科目 キャリア科目

科 目 名	単 位	
	必修	選択
キャリアプランニング		2
キャリアデザイン1		2
キャリアデザイン2		2
キャリアデザイン3		2
インターンシップ1		1
インターンシップ2		2
海外インターンシップ1		1
海外インターンシップ2		2

教養科目 一般科目

科 目 名	単 位	
	必修	選択
生活の中の科学		2
地球環境論		2
科学と現代		2
数学と論理		2
情報処理		2
統計学		2
経営学1		2
経営学2		2
地理学1		2
地理学2		2
日本国憲法		2
法学		2
経済学概論1		2
経済学概論2		2
政治学		2
民法1		2
民法2		2
行政法1		2
行政法2		2
哲学概論A		2
哲学概論B		2
倫理学1		2
倫理学2		2
心理学1		2
心理学2		2
ジェンダー・セクシャリティ		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
近現代の遺産と未来		2
オリンピックと国際社会		2
宗教と芸能		2
労働と社会		2
障害学		2
世界の文学		2
カルチュラルスタディーズ		2
人権と差別 1		2
人権と差別 2		2
日本事情 1		2
日本事情 2		2
日本手話 A		2
日本手話 B		2
健康スポーツ 1		1
健康スポーツ 2		1
生涯スポーツ (アウトドアスポーツ)		1
森に生きる A		1
森に生きる B		1
森に生きる C		1
森に生きる (オーストラリアコース)		1

(2) 専門教育科目
 共通科目

人間学部

科 目 名	単 位	
	必修	選択
人間論 1		2
人間論 2		2
人間論 3		2
人間論 4		2
現代家族論		2
矯正保護支援実践論		2
犯罪被害者支援論		2

人間学部 人間関係学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
心理学概論		2
臨床心理学概論		2
教育学概論 1		2
教育学概論 2		2
社会福祉概論 1		2
社会福祉概論 2		2
天理教社会福祉論		2

文学部

科 目 名	単 位	
	必修	選択
大和の文化遺産を学ぶ 1		2
大和の文化遺産を学ぶ 2		2
大和の文化遺産を学ぶ 3		2
大和の文化遺産を学ぶ 4		2
大和の文化遺産を学ぶ 5		2

国際学部

科 目 名	単 位	
	必修	選択
日本文化概論	2	
国際文化論	2	
世界の英語		2
異文化コミュニケーション 1		2
異文化コミュニケーション 2		2
日本と国際社会		2
文化人類学概論		2
国際法		2
国際政治学		2
国際経済論		2
音声学 1		2
音声学 2		2
英語学概論		2
社会言語学 1		2
社会言語学 2		2
言語学概論 1		2
言語学概論 2		2
English Grammar A		1
English Grammar B		1
English Reading A		1
English Reading B		1
English Writing A		1
English Writing B		1
Communicative English (基礎)		1
Communicative English (発展)		1
College English Grammar A		1
College English Grammar B		1
実践英語 C 1		1
実践英語 D 1		1
実践英語 E 1		1
実践英語 F 1		1
実践英語 C 2		1
実践英語 D 2		1
実践英語 A 3		1
実践英語 B 3		1
Public Speaking (基礎)		1
Media English		1
翻訳		1
通訳		1
旅行英語		1
Public Speaking (発展)		1
Academic Reading		1
Japanese Culture and Society		2
Japanese History		2
Japanese Religions		2
国際協力入門 1		2
国際協力入門 2		2
国際ボランティア論 1		2
国際ボランティア論 2		2
国際協力実習		2
国際協力演習 1		2
国際協力演習 2		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
天理異文化伝道		2
観光地理学		2
観光デザイン論		2
観光業界論		2
世界遺産論		2
ホスピタリティー観光研究 1		2
ホスピタリティー観光研究 2		2
国内旅行実務		2
海外旅行実務		2
国際スポーツ協力論		1
国際スポーツ交流実習		1

医療学部

科 目 名	単 位	
	必修	選択
臨床心理学	2	
コミュニケーション演習	1	
現代家族論		2
教育学概論 1		2
医療英語 A		1
医療英語 B		1
体のしくみ I	2	
体のしくみ II	2	1
分子医学の基礎	2	
生化学		2
微生物学		1
疾病の成り立ちと治療 I	2	
疾病の成り立ちと治療 II	2	
疾病の成り立ちと治療 III	2	
疾病の成り立ちと治療 IV	2	
疾病の成り立ちと治療 V	2	
病理学		1
薬理学・臨床薬理学	2	
栄養学・臨床栄養学	2	
保健医療概論	2	
公衆衛生学	2	
保健医療福祉行政論	2	
現代社会と福祉 1	2	
医療安全管理学	2	
情報科学演習	1	

専攻科目
人間学部

宗教学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
天理教学概論 1	2	
天理教学概論 2	2	
天理教教祖伝概説 1	2	
天理教教祖伝概説 2	2	
宗教史概説 1	2	
宗教史概説 2	2	
宗教学概論 1	2	
宗教学概論 2	2	
天理教原典学 1 概説		2
天理教原典学 2 概説		2
天理教原典学 3 概説		2
天理教学特殊講義 1		2
天理教学特殊講義 2		2
天理教学特殊講義 3		2
天理教学特殊講義 4		2
天理教史特殊講義 1		2
天理教史特殊講義 2		2
天理教史特殊講義 3		2
宗教学特殊講義 1		2
宗教学特殊講義 2		2
宗教学特殊講義 3		2
宗教学特殊講義 4		2
宗教史特殊講義 1		2
宗教史特殊講義 2		2
宗教史特殊講義 3		2
宗教史特殊講義 4		2
宗教史特殊講義 5		2
宗教史特殊講義 6		2
宗教科指導法 1		2
宗教科指導法 2		2
宗教科指導法 3		2
宗教科指導法 4		2
宗教研究基礎演習	2	
宗教研究演習 1	2	
宗教研究演習 2	2	
宗教課題演習 1	2	
宗教課題演習 2	2	
卒業論文	4	

人間関係学科 臨床心理専攻

科 目 名	単 位	
	必修	選択
公認心理師の職責		2
心理学研究法		4
心理学統計法		2
多変量解析法		2
心理学実験法		4
知覚・認知心理学		2
学習・言語心理学		2
感情・人格心理学		2
神経・生理心理学		2
社会・集団・家族心理学		2
発達心理学		2
障害者・障害児心理学		2
心理的アセスメント1		4
心理的アセスメント2		4
心理学的支援法		2
健康・医療心理学		2
福祉心理学		2
教育・学校心理学		2
司法・犯罪心理学		2
産業・組織心理学		2
人体の構造と機能及び疾病		2
精神疾患とその治療1		2
精神疾患とその治療2		2
関係行政論		2
精神分析学	2	
ユング心理学	2	
投影法演習		4
心理演習		2
心理実習		2
臨床心理学入門演習	2	
臨床心理学課題演習	2	
臨床心理学研究演習1	2	
臨床心理学研究演習2	2	
卒業課題研究	4	

人間関係学科 生涯教育専攻

科 目 名	単 位	
	必修	選択
生涯教育基礎演習 1	2	
生涯教育基礎演習 2	2	
生涯教育演習 1	2	
生涯教育演習 2	2	
社会教育演習 1	2	
社会教育演習 2	2	
生涯教育課題研究 1	2	
生涯教育課題研究 2	2	
生涯学習概論 1	2	
生涯学習概論 2	2	
生涯学習支援論 1		2
生涯学習支援論 2		2
社会教育経営論 1		2
社会教育経営論 2		2
社会教育特講 1		2
社会教育特講 2		2
社会教育特講 3		2
社会教育特講 4		2
生涯教育特論 1		2
生涯教育特論 2		2
生涯教育特論 3		2
生涯教育特論 4		2
生涯教育特論 5		2
生涯教育特論 6		2
生涯教育特論 7		2
生涯教育特論 8		2
教育史		2
博物館学概論		2
博物館情報・メディア論		2
博物館教育論		2
図書館情報学概論		2
生涯教育基礎実習	2	
社会教育実習		2
生涯教育実習 1		1
生涯教育実習 2		1
生涯教育実習 3		1
生涯教育実習 4		1
生涯教育実習 5		1
生涯教育実習 6		1
野外教育実習		1
卒業論文	8	

人間関係学科 社会福祉専攻

科 目 名	単 位	
	必修	選択
社会福祉学演習 1	2	
社会福祉学演習 2	2	
社会福祉学演習 3	2	
社会福祉学演習 4	2	
社会福祉学演習 5	2	
人体の構造と機能及び疾病		2
社会学と社会システム		2
社会保障論 1		2
社会保障論 2		2
社会福祉調査法		2
ソーシャルワーク論 1		2
ソーシャルワーク論 2		2
ソーシャルワーク論 3		2
ソーシャルワーク論 4		2
ソーシャルワーク論 5		2
ソーシャルワーク論 6		2
地域福祉と包括的支援体制 1		2
地域福祉と包括的支援体制 2		2
福祉経営論		2
障害者福祉論		2
児童福祉論		2
高齢者福祉論		2
公的扶助論		2
医療福祉論		2
権利擁護を支える法制度		2
刑事司法と福祉		2
ソーシャルワーク演習 1		2
ソーシャルワーク演習 2		2
ソーシャルワーク演習 3		2
ソーシャルワーク演習 4		2
ソーシャルワーク演習 5		2
ソーシャルワーク実習 1		2
ソーシャルワーク実習 2		2
ソーシャルワーク実習指導 1		2
ソーシャルワーク実習指導 2		2
ソーシャルワーク実習指導 3		2
精神医学と精神医療 1		2
精神医学と精神医療 2		2
現代の精神保健の課題と支援 1		2
現代の精神保健の課題と支援 2		2
精神保健福祉の原理 1		2
精神保健福祉の原理 2		2
ソーシャルワーク理論と方法（専門） 1		2
ソーシャルワーク理論と方法（専門） 2		2
精神障害リハビリテーション論		2
精神保健福祉制度論		2
精神保健福祉援助演習 1		2
精神保健福祉援助演習 2		2
精神保健福祉援助演習 3		2
精神保健福祉援助実習 A		5
精神保健福祉援助実習 B		3

科 目 名	単 位	
	必修	選択
精神保健福祉援助実習指導 1		2
精神保健福祉援助実習指導 2		2
精神保健福祉援助実習指導 3		2
卒業論文	8	

文学部
国文学国語学科

科 目 名	单 位	
	必修	選択
国文学基礎演習 1		2
国文学基礎演習 2		2
国文学概論 1	2	
国文学概論 2	2	
上代文学講読 1		2
上代文学講読 2		2
中古文学講読 1		2
中古文学講読 2		2
中世文学講読 1		2
中世文学講読 2		2
近世文学講読 1		2
近世文学講読 2		2
近代文学講読 1		2
近代文学講読 2		2
上代文学特論 1		2
上代文学特論 2		2
中古文学特論 1		2
中古文学特論 2		2
中世文学特論 1		2
中世文学特論 2		2
近世文学特論 1		2
近世文学特論 2		2
近代文学特論 1		2
近代文学特論 2		2
国文学演習 (上代) 1		2
国文学演習 (上代) 2		2
国文学演習 (中古) 1		2
国文学演習 (中古) 2		2
国文学演習 (中世) 1		2
国文学演習 (中世) 2		2
国文学演習 (近世) 1		2
国文学演習 (近世) 2		2
国文学演習 (近代) 1		2
国文学演習 (近代) 2		2
古典文学史 1		2
古典文学史 2		2
近代文学史 1		2
近代文学史 2		2
国語学基礎演習 1		2
国語学基礎演習 2		2
国語学概論 1	2	
国語学概論 2	2	
国語学特論 (言語構造) 1		2
国語学特論 (言語構造) 2		2
国語学特論 (言語運用) 1		2
国語学特論 (言語運用) 2		2
国語学特論 (言語実態) 1		2
国語学特論 (言語実態) 2		2
国語学演習 (言語構造) 1		2
国語学演習 (言語構造) 2		2
国語学演習 (言語運用) 1		2
国語学演習 (言語運用) 2		2
国語学演習 (言語実態) 1		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
国語学演習（言語実態） 2		2
漢文学基礎演習 1		2
漢文学基礎演習 2		2
漢文学特論 1		2
漢文学特論 2		2
古典文法 1		2
古典文法 2		2
国語表現法 1		2
国語表現法 2		2
書道（書写を中心とする）		1
国語科指導法 1		2
国語科指導法 2		2
国語科指導法 3		2
国語科指導法 4		2
卒業論文演習	4	
卒業論文	6	

歴史文化学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
歴史学概論	2	
考古学概論	2	
民俗学概論	2	
日本史要説		2
東洋史要説		2
西洋史要説		2
日本考古学要説		2
日本民俗学要説		2
古文書入門		2
美術史		2
地誌		2
人文地理学概論		2
自然地理学概論		2
政治学概論		2
法学概論		2
社会学通論 1		2
社会学通論 2		2
経済学通論		2
博物館資料論		2
博物館資料保存論		2
社会科指導法 1		2
社会科指導法 2		2
社会・地理歴史科指導法 1		2
社会・地理歴史科指導法 2		2
歴史文化基礎演習	2	
卒業論文演習	4	
卒業論文	6	

歴史学研究コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
歴史学研究入門 1		2
歴史学研究入門 2		2
文化交流史の研究 1		2
文化交流史の研究 2		2
日本古代史の研究		2
日本中世史の研究		2
日本近世史の研究		2
日本近代史の研究		2
東アジア史の研究		2
国際政治史の研究		2
古文書学		2
日本古代史料の講読 1		2
日本古代史料の講読 2		2
日本中世史料の講読 1		2
日本中世史料の講読 2		2
日本近世史料の講読 1		2
日本近世史料の講読 2		2
日本近代史料の講読 1		2
日本近代史料の講読 2		2
東洋近世史料の講読 1		2
東洋近世史料の講読 2		2
東洋近世史料の講読 3		2
東洋近世史料の講読 4		2
西洋近代史料の講読 1		2
西洋近代史料の講読 2		2
西洋近代史料の講読 3		2
西洋近代史料の講読 4		2
日本近世史料実習 1		1
日本近世史料実習 2		1
日本近世史料実習 3		1
日本近世史料実習 4		1
日本古代中世史演習 1		2
日本古代中世史演習 2		2
日本近世史演習 1		2
日本近世史演習 2		2
日本近代史演習 1		2
日本近代史演習 2		2
東洋近世史演習 1		2
東洋近世史演習 2		2
西洋近代史演習 1		2
西洋近代史演習 2		2

考古学・民俗学研究コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
文化財行政学		2
民俗学と現代社会		2
文化遺産の保存と活用		2
旧石器・縄文時代の考古学		2
弥生時代の考古学		2
古墳時代の考古学		2
飛鳥・奈良時代の考古学		2
中近世の考古学		2
生活文化史		2
生と死の民俗学		2
民話と伝承		2
宗教民俗学		2
東アジア考古学		2
西アジア考古学		2
文化人類学		2
考古学・民俗学特講 1		2
考古学・民俗学特講 2		2
考古学・民俗学特講 3		2
考古学・民俗学特講 4		2
考古学・民俗学特講 5		2
考古学実習 1		1
考古学実習 2		1
考古学実習 3		1
民俗学実習 1		1
民俗学実習 2		1
民俗学実習 3		1
考古学・民俗学研究入門 1		2
考古学・民俗学研究入門 2		2
考古学・民俗学課題研究 1		2
考古学・民俗学課題研究 2		2

国際学部
外国語学科 英米語専攻

科 目 名	単 位	
	必修	選択
英語 A (Reading)	1	
英語 A (Usage)	1	
英語 A (Listening)	1	
英語 A (Presentation)	1	
英語 A (Vocabulary Building)	1	
英語 B (Reading)	1	
英語 B (Usage)	1	
英語 B (Listening)	1	
英語 B (Speaking)	1	
英語 B (Presentation)	1	
英語 C (Reading)	1	
英語 C (Usage)	1	
英語 C (Writing)	1	
英語 C (Listening)	1	
英語 C (Speaking)	1	
英語 D (Reading)	1	
英語 D (Usage)	1	
英語 D (Writing)	1	
英語 D (Listening)	1	
英語 D (Speaking)	1	
英語 E (Reading)	1	
英語 E (Rapid Reading)	1	
英語 E (Writing)	1	
英語 E (Speaking)	1	
英語 E (Presentation)	1	
英語 F (Rapid Reading)	1	
英語 F (Journalism English)	1	
英語 F (Writing)	1	
英語 F (Presentation)	1	
英語 F (Content Based English)	1	
英語 G (Content Based English 1)	1	
英語 G (Content Based English 2)	1	
英語 H (Content Based English 1)	1	
英語 H (Content Based English 2)	1	
英米文学概論		2
英文ジャーナリズム事情		2
英米政治経済論		2
伝道英語 1		1
伝道英語 2		1
論文作成法		2
英語科指導法 1		2
英語科指導法 2		2
英語科指導法 3		2
英語科指導法 4		2
英米語入門 (英語学)		2
英米語入門 (英米史)		2
英米語入門 (英米社会)		2
英米語入門 (英米文学)		2
英米語入門 (英語教育)		2
英米語演習 1	2	
英米語演習 2	2	
英米語演習 3	2	

科 目 名	单 位	
	必修	選択
英米語演習 4	2	
英米語海外語学実習	4	
卒業課題研究		2
卒業論文		4

外国語学科 中国語専攻

科 目 名	単 位	
	必修	選択
中国語 A (文法)	2	
中国語 A (発音)	2	
中国語 A (リスニング)	2	
中国語 B (文法)	2	
中国語 B (発音)	2	
中国語 B (リスニング)	2	
中国語 C (文法)	2	
中国語 C (会話)	2	
中国語 D (読解)	2	
中国語 D (会話)	2	
中国語 E (通訳)	2	
中国語 E (読解)	2	
中国語 F (通訳)	2	
中国語 F (読解)	2	
伝道中国語 1		1
伝道中国語 2		1
広東語 A		1
広東語 B		1
台湾語 A		1
台湾語 B		1
ビジネス中国語		1
ネイティブ中国語 1		1
ネイティブ中国語 2		1
実践中国語 A		1
実践中国語 B		1
スピーチ中国語 A		1
スピーチ中国語 B		1
中国語学概論 1		2
中国語学概論 2		2
中国文学概論 1		2
中国文学概論 2		2
中国史 1		2
中国史 2		2
中国文化史 1		2
中国文化史 2		2
台湾社会文化論 1		2
台湾社会文化論 2		2
近現代中国と国際政治 1		2
近現代中国と国際政治 2		2
中国語科指導法 1		2
中国語科指導法 2		2
中国語演習 1	2	
中国語演習 2	2	
中国語演習 3	2	
中国語演習 4	2	
中国語海外語学実習	4	
卒業課題研究		2
卒業論文		4

外国語学科 韓国・朝鮮語専攻

科 目 名	単 位	
	必修	選択
韓国・朝鮮語 A (文法)	3	
韓国・朝鮮語 A (会話)	2	
韓国・朝鮮語 A (発音)	1	
韓国・朝鮮語 B (文法)	3	
韓国・朝鮮語 B (会話)	2	
韓国・朝鮮語 B (講読)	1	
韓国・朝鮮語 C (文法)	1	
韓国・朝鮮語 C (会話)	1	
韓国・朝鮮語 C (講読)	1	
韓国・朝鮮語 C (作文)	1	
韓国・朝鮮語 D (文法)	1	
韓国・朝鮮語 D (会話)	1	
韓国・朝鮮語 D (講読)	1	
韓国・朝鮮語 D (作文)	1	
韓国・朝鮮語 E (会話)	1	
韓国・朝鮮語 E (講読)	1	
韓国・朝鮮語 E (作文)	1	
韓国・朝鮮語 E (表現)	1	
韓国・朝鮮語 F (会話)	1	
韓国・朝鮮語 F (講読)	1	
韓国・朝鮮語 F (作文)	1	
韓国・朝鮮語 F (表現)	1	
実践韓国・朝鮮語 A		1
実践韓国・朝鮮語 B		1
映像で学ぶ韓国・朝鮮語		1
韓国・朝鮮語古典講読		1
通訳翻訳韓国・朝鮮語 A		1
通訳翻訳韓国・朝鮮語 B		1
応用韓国・朝鮮語 A		1
応用韓国・朝鮮語 B		1
伝道韓国・朝鮮語 1		1
伝道韓国・朝鮮語 2		1
韓国・朝鮮語学概論 1		2
韓国・朝鮮語学概論 2		2
韓国・朝鮮文学概論 1		2
韓国・朝鮮文学概論 2		2
韓国・朝鮮史 1		2
韓国・朝鮮史 2		2
韓国・朝鮮社会文化論 1		2
韓国・朝鮮社会文化論 2		2
韓国・朝鮮文化交流史 1		2
韓国・朝鮮文化交流史 2		2
韓国・朝鮮事情 1		2
韓国・朝鮮事情 2		2
韓国・朝鮮語科指導法 1		2
韓国・朝鮮語科指導法 2		2
韓国・朝鮮入門	2	
韓国・朝鮮語演習 1	2	
韓国・朝鮮語演習 2	2	
韓国・朝鮮語演習 3	2	
韓国・朝鮮語演習 4	2	
韓国・朝鮮語海外語学実習	4	
卒業課題研究		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
卒業論文		4

外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

科 目 名	単 位	
	必修	選択
スペイン語 A (文法)		2
スペイン語 A (会話)		2
スペイン語 A (視聴覚)		2
スペイン語 B (文法)		2
スペイン語 B (会話)		2
スペイン語 B (視聴覚)		2
スペイン語 C (文法)		1
スペイン語 C (会話)		1
スペイン語 C (視聴覚)		1
スペイン語 C (表現)		1
スペイン語 D (文法)		1
スペイン語 D (会話)		1
スペイン語 D (視聴覚)		1
スペイン語 D (表現)		1
スペイン語 E (文法)		1
スペイン語 E (会話)		1
スペイン語 E (視聴覚)		1
スペイン語 E (表現)		1
スペイン語 F (文法)		1
スペイン語 F (会話)		1
スペイン語 F (視聴覚)		1
スペイン語 F (表現)		1
ブラジルポルトガル語 A (文法)		2
ブラジルポルトガル語 A (会話)		2
ブラジルポルトガル語 A (視聴覚)		2
ブラジルポルトガル語 B (文法)		2
ブラジルポルトガル語 B (会話)		2
ブラジルポルトガル語 B (視聴覚)		2
ブラジルポルトガル語 C (文法)		1
ブラジルポルトガル語 C (会話)		1
ブラジルポルトガル語 C (視聴覚)		1
ブラジルポルトガル語 C (講読)		1
ブラジルポルトガル語 D (文法)		1
ブラジルポルトガル語 D (会話)		1
ブラジルポルトガル語 D (視聴覚)		1
ブラジルポルトガル語 D (講読)		1
ブラジルポルトガル語 E (文法)		1
ブラジルポルトガル語 E (会話)		1
ブラジルポルトガル語 E (視聴覚)		1
ブラジルポルトガル語 E (講読)		1
ブラジルポルトガル語 F (文法)		1
ブラジルポルトガル語 F (会話)		1
ブラジルポルトガル語 F (視聴覚)		1
ブラジルポルトガル語 F (講読)		1
実践スペイン語		1
伝道スペイン語 1		1
伝道スペイン語 2		1
翻訳・通訳スペイン語 1		1
翻訳・通訳スペイン語 2		1
スペイン語応用会話		1
総合スペイン語		1
実践ブラジルポルトガル語		1

科 目 名	単 位	
	必修	選択
伝道ブラジルポルトガル語 1		1
伝道ブラジルポルトガル語 2		1
翻訳・通訳ブラジルポルトガル語 1		1
翻訳・通訳ブラジルポルトガル語 2		1
ブラジルポルトガル語応用会話		1
総合ブラジルポルトガル語		1
イベロアメリカ語学概論 1		2
イベロアメリカ語学概論 2		2
イベロアメリカ文学概論 1		2
イベロアメリカ文学概論 2		2
イベロアメリカ社会文化概論 1		2
イベロアメリカ社会文化概論 2		2
スペイン語圏史		2
ポルトガル語圏史		2
スペイン語圏入門	2	
ブラジルポルトガル語圏入門	2	
イベロアメリカ演習 1	2	
イベロアメリカ演習 2	2	
イベロアメリカ演習 3	2	
イベロアメリカ演習 4	2	
イベロアメリカ海外語学実習		4
卒業課題研究		2
卒業論文		4

地域文化学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
地域研究方法論	2	
東アジア地域研究入門		2
東南アジア・オセアニア地域研究入門		2
ヨーロッパ地域研究入門		2
アフリカ地域研究入門		2
ラテンアメリカ地域研究入門		2
北アメリカ地域研究入門		2
日本研究入門		2
ナラロジー研究入門		2
世界の地理		2
世界の歴史		2
世界の情勢		2
世界の観光		2
世界のスポーツ文化		2
世界史のなかの日本		2
世界の文化交流と日本		2
多文化共生論		2
スポーツ文化概論		2
スポーツ文化特論		2
アラブ文化概論		2
異文化実習		4
異文化体験活動 1		1
異文化体験活動 2		1
異文化体験活動 3		1
異文化体験活動 4		1
生活文化演習 1		2
生活文化演習 2		2
生活文化演習 3		2
生活文化演習 4		2
表現文化演習 1		2
表現文化演習 2		2
表現文化演習 3		2
表現文化演習 4		2
社会文化演習 1		2
社会文化演習 2		2
社会文化演習 3		2
社会文化演習 4		2
ナラロジー演習 1		2
ナラロジー演習 2		2
ナラロジー演習 3		2
ナラロジー演習 4		2
卒業論文	4	
卒業課題研究		2

アジア・オセアニア研究コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
アジア生活文化概論		2
アジア表現文化概論		2
アジア社会文化概論		2
アジア地域文化概論		2
オセアニア地域文化概論		2
アジア・オセアニアと日本		2
アジア地域関係史		2
アジア生活文化特論		2
アジア表現文化特論		2
アジア社会文化特論		2
アジア地域文化特論		2
オセアニア地域文化特論		2
アジア・オセアニア多文化共生論		2
アジア・オセアニア現代事情		2

ヨーロッパ・アフリカ研究コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
ヨーロッパ生活文化概論		2
ヨーロッパ表現文化概論		2
ヨーロッパ社会文化概論		2
スラヴ地域文化概論		2
アフリカ地域文化概論		2
ヨーロッパ・アフリカと日本		2
ヨーロッパ・アフリカ関係史		2
ヨーロッパ生活文化特論		2
ヨーロッパ表現文化特論		2
ヨーロッパ社会文化特論		2
スラヴ地域文化特論		2
アフリカ地域文化特論		2
ヨーロッパ多文化共生論		2
ヨーロッパ・アフリカ現代事情		2

アメリカス研究コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
ラテンアメリカ生活文化概論		2
ラテンアメリカ表現文化概論		2
ラテンアメリカ社会文化概論		2
北アメリカ地域文化概論		2
アメリカス研究概論		2
アメリカスと日本		2
大西洋地域関係史		2
ラテンアメリカ生活文化特論		2
ラテンアメリカ表現文化特論		2
ラテンアメリカ社会文化特論		2
北アメリカ地域文化特論		2
アメリカス研究特論		2
アメリカス多文化共生論		2
アメリカス現代事情		2

日本研究コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
日本生活文化概論		2
日本表現文化概論		2
日本社会文化概論		2
ナラロジー概論		2
日本コミュニケーション文化概論		2
日本精神文化概論		2
日本多文化共生概論		2
日本生活文化特論		2
日本表現文化特論		2
日本社会文化特論		2
ナラロジー特論		2
日本情報文化特論		2
日本環境文化特論		2
日本経営文化特論		2

地域言語

科 目 名	単 位	
	必修	選択
韓国・朝鮮語レベルA 1		2
韓国・朝鮮語レベルA 2		2
韓国・朝鮮語レベルB 1		2
韓国・朝鮮語レベルB 2		2
韓国・朝鮮語レベルC 1		1
韓国・朝鮮語レベルC 2		1
韓国・朝鮮語レベルD 1		1
韓国・朝鮮語レベルD 2		1
韓国・朝鮮語演習		2
海外語学単位認定科目（韓国・朝鮮語）		1～16
中国語レベルA 1		2
中国語レベルA 2		2
中国語レベルB 1		2
中国語レベルB 2		2
中国語レベルC 1		1
中国語レベルC 2		1
中国語レベルD 1		1
中国語レベルD 2		1
中国語演習		2
海外語学単位認定科目（中国語）		1～16
タイ語レベルA 1		2
タイ語レベルA 2		2
タイ語レベルB 1		2
タイ語レベルB 2		2
タイ語レベルC 1		1
タイ語レベルC 2		1
タイ語レベルD 1		1
タイ語レベルD 2		1
タイ語演習		2
海外語学単位認定科目（タイ語）		1～16
インドネシア語レベルA 1		2
インドネシア語レベルA 2		2
インドネシア語レベルB 1		2
インドネシア語レベルB 2		2
インドネシア語レベルC 1		1
インドネシア語レベルC 2		1
インドネシア語レベルD 1		1
インドネシア語レベルD 2		1
インドネシア語演習		2
海外語学単位認定科目（インドネシア語）		1～16
ドイツ語レベルA 1		2
ドイツ語レベルA 2		2
ドイツ語レベルB 1		2
ドイツ語レベルB 2		2
ドイツ語レベルC 1		1
ドイツ語レベルC 2		1
ドイツ語レベルD 1		1
ドイツ語レベルD 2		1
ドイツ語演習		2
海外語学単位認定科目（ドイツ語）		1～16
フランス語レベルA 1		2
フランス語レベルA 2		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
フランス語レベルB 1		2
フランス語レベルB 2		2
フランス語レベルC 1		1
フランス語レベルC 2		1
フランス語レベルD 1		1
フランス語レベルD 2		1
フランス語演習		2
海外語学単位認定科目 (フランス語)		1~16
ロシア語レベルA 1		2
ロシア語レベルA 2		2
ロシア語レベルB 1		2
ロシア語レベルB 2		2
ロシア語レベルC 1		1
ロシア語レベルC 2		1
ロシア語レベルD 1		1
ロシア語レベルD 2		1
ロシア語演習		2
海外語学単位認定科目 (ロシア語)		1~16
スペイン語レベルA 1		2
スペイン語レベルA 2		2
スペイン語レベルB 1		2
スペイン語レベルB 2		2
スペイン語レベルC 1		1
スペイン語レベルC 2		1
スペイン語レベルD 1		1
スペイン語レベルD 2		1
スペイン語演習		2
海外語学単位認定科目 (スペイン語)		1~16
ブラジルポルトガル語レベルA 1		2
ブラジルポルトガル語レベルA 2		2
ブラジルポルトガル語レベルB 1		2
ブラジルポルトガル語レベルB 2		2
ブラジルポルトガル語レベルC 1		1
ブラジルポルトガル語レベルC 2		1
ブラジルポルトガル語レベルD 1		1
ブラジルポルトガル語レベルD 2		1
ブラジルポルトガル語演習		2
海外語学単位認定科目 (ブラジルポルトガル語)		1~16
入門日本語A (会話)		1
入門日本語A (文法A)		1
入門日本語A (文法B)		1
入門日本語A (作文)		1
入門日本語A (講読)		1
入門日本語A (表記)		1
入門日本語A (総合)		1
入門日本語A (表現)		1
入門日本語B (会話)		1
入門日本語B (文法A)		1
入門日本語B (文法B)		1
入門日本語B (作文)		1
入門日本語B (講読)		1
入門日本語B (表記)		1

科 目 名	単 位	
	必修	選択
入門日本語B (総合)		1
入門日本語B (表現)		1
基礎日本語A (会話)		1
基礎日本語A (文法A)		1
基礎日本語A (文法B)		1
基礎日本語A (作文)		1
基礎日本語A (講読)		1
基礎日本語A (表記)		1
基礎日本語A (総合)		1
基礎日本語A (表現)		1
基礎日本語B (会話)		1
基礎日本語B (文法A)		1
基礎日本語B (文法B)		1
基礎日本語B (作文)		1
基礎日本語B (講読)		1
基礎日本語B (表記)		1
基礎日本語B (総合)		1
基礎日本語B (表現)		1
発展日本語A (実践)		1
発展日本語A (会話)		1
発展日本語A (作文)		1
発展日本語A (講読)		1
発展日本語A (ビジネス)		1
発展日本語B (実践)		1
発展日本語B (会話)		1
発展日本語B (作文)		1
発展日本語B (講読)		1
発展日本語B (ビジネス)		1

体育学部
体育学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
天理スポーツ学	2	
スポーツ学概論	2	
健康学概論	2	
武道学概論	2	
体育・スポーツ原論(体育原理、学校体育史を含む)	2	
スポーツデータサイエンス	2	
スポーツ運動学(運動方法学を含む)		2
解剖学		2
体力学(体力診断の理論と体力測定法を含む)		2
生理学(運動生理学を含む)		2
スポーツ心理学		2
スポーツ経営学		2
保健体育科指導法1		2
保健体育科指導法2		2
アダプテッド・スポーツ論		2
スポーツプログラミング(運動処方論及びメディカルチェックの基礎を含む)		2
学校保健(学校安全を含む)		2
救急看護法		2
健康・スポーツ統計学		2
パフォーマンス分析		2
体育学演習1	2	
体育学演習2	2	
健康運動処方論(実習を含む)		2
体育学特別演習		2
卒業研究	4	
スポーツトレーニング論		2
スポーツバイオメカニクス		2
スポーツコーチ論		2
スポーツカウンセリング		2
スポーツ栄養学		2
スポーツコンディショニング論		2
スポーツマッサージ(テーピングを含む)		2
スポーツ教育学		2
野外教育論		2
保健科教育法		2
学校体育特論		2
保健体育科指導法3		2
保健体育科指導法4		2
スポーツ方法(アダプテッド・スポーツ)		1
スポーツ文化論		2
生涯スポーツ論(スポーツ政策を含む)		2
身体コミュニケーション		2
スポーツマネジメント		2
スポーツ社会学		2
スポーツ人類学		2
スポーツメディア論		2
心身健康論		2
スポーツ医学		2
健康栄養学		2
健康運動論		2
健康管理学(小児保健を含む)		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
衛生学（公衆衛生学を含む）		2
発育発達・老化論		2
精神保健		2
柔道論		2
剣道論		2
柔道史		2
剣道史		2
武道思想史		2
武道国際事情		2
柔道特別実習1（柔の形1）		1
柔道特別実習2（柔の形2）		1
柔道特別実習3（投の形1）		1
柔道特別実習4（投の形2）		1
柔道特別実習5（古式の形1）		1
柔道特別実習6（古式の形2）		1
柔道特別実習7（極の形1）		1
柔道特別実習8（極の形2）		1
剣道特別実習1（剣道の基本動作）		1
剣道特別実習2（技と技術の構造）		1
剣道特別実習3（古流剣術の形1）		1
剣道特別実習4（古流剣術の形2）		1
剣道特別実習5（日本剣道形）		1
剣道特別実習6（剣道五行之形）		1
剣道特別実習7（審判法）		1
剣道特別実習8（指導法）		1
スポーツ方法（体づくり運動・集団行動）		1
スポーツ方法（器械運動）		1
スポーツ方法（陸上競技）		1
スポーツ方法（水泳）		1
スポーツ方法（柔道）		1
スポーツ方法（剣道）		1
スポーツ方法（ダンス）		1
スポーツ方法（バスケットボール）		1
スポーツ方法（ハンドボール）		1
スポーツ方法（サッカー）		1
スポーツ方法（ラグビー）		1
スポーツ方法（バレーボール）		1
スポーツ方法（テニス）		1
スポーツ方法（バドミントン）		1
スポーツ方法（卓球）		1
スポーツ方法（ソフトボール）		1
スポーツ方法（ホッケー）		1
スポーツ外国語会話		1
健康・体力づくり運動（トレーニング）		1
健康・体力づくり運動（エアロビック・エクササイズ）		1
健康・体力づくり運動（レクリエーションスポーツ）		1
競技力向上・支援活動		1
スポーツ特別演習		2
スポーツ方法（スキー）		1
スポーツ方法（スケート）		1
スポーツ方法（野外活動）		1
社会体育・スポーツ指導実習		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
スポーツボランティア（実習を含む）		1
スポーツ特別活動 1		1
スポーツ特別活動 2		1
スポーツ特別活動 3		1
スポーツ特別活動 4		1

医療学部
看護学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
看護学概論	2	
看護早期実習	1	
看護過程論	1	
看護方法論 I	2	
看護援助論	2	
看護方法論 II	2	
ヘルスアセスメント	2	
看護基礎実習	2	
地域の暮らしと看護	1	
地域・在宅看護学	2	
地域看護方法論	1	
在宅看護方法論	1	
在宅看護学実習	2	
地域共生マネジメント方法論	1	
地域共生マネジメント実習	1	
成人看護学	2	
成人看護援助論	2	
慢性期看護方法論	1	
慢性期（在宅移行）看護学実習	3	
急性期看護方法論	1	
急性期看護学実習	2	
高齢者看護学	2	
高齢者看護方法論	2	
高齢者看護学実習 I	1	
高齢者看護学実習 II	2	
小児看護学	2	
小児看護方法論	2	
小児看護学実習	2	
母性看護学	2	
母性看護方法論	2	
母性看護学実習	2	
精神看護学	2	
精神看護方法論	2	
精神看護学実習	2	
地域健康教育方法論	1	
地域健康教育実習	1	
家族看護論		1
ストレスマネジメント論		1
看護学研究方法論	1	
看護学研究	2	
看護管理論	2	
看護統合実習	2	
臨床判断能力の探求	1	
国際看護論	1	
災害看護論	1	
緩和ケア論		1
がん看護論		1
ウィメンズヘルスケア論		1
クリティカルケア論		1
グリーンフケア論		1
高齢者健康増進看護論		1

臨床検査学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
医用工学	2	
医用工学実習	1	
血液検査学Ⅰ	2	
血液検査学Ⅱ	1	
血液検査学実習	1	
病理検査学Ⅰ	2	
病理検査学Ⅱ	1	
病理検査学実習Ⅰ	1	
病理検査学実習Ⅱ	1	
臨床一般検査学	2	
臨床一般検査学実習	1	
医動物検査学	1	
生化学検査学	2	
生化学検査学実習	1	
免疫検査学	2	
免疫検査学実習	1	
遺伝子関連・染色体検査学	1	
遺伝子関連・染色体検査学実習	1	
輸血・移植検査学	2	
輸血・移植検査学実習	2	
微生物検査学Ⅰ	2	
微生物検査学Ⅱ	2	
微生物検査学実習	2	
基礎生理検査学	2	
循環機能検査学	2	
神経感覚機能検査学	2	
超音波検査学	2	
生理検査学実習	2	
臨床検査総合管理学Ⅰ	2	
臨床検査総合管理学Ⅱ	1	
臨床検査総合管理学Ⅲ	1	
臨床検査総合管理学Ⅳ	1	
臨床病態検査学	1	
臨床実習前総合演習	1	
病理検査学臨地実習	1	
血液検査学・輸血移植検査学臨地実習	2	
生化学・免疫検査学臨地実習	1	
微生物検査学臨地実習	1	
生理検査学臨地実習	4	
検査総合管理学臨地実習	2	
専門的臨床検査実習	1	
臨床検査基礎演習	1	
臨床検査学研究Ⅰ	1	
臨床検査学研究Ⅱ	6	
臨床検査学研究A	1	
臨床検査学研究B		1
臨床検査学総合演習A		1
臨床検査学総合演習B		1
臨床検査学総合演習C		1
臨床検査学総合演習D		1

天理教学部門

科 目 名	単 位	
	必修	選択
伝道実習 1 (理論を含む)		1
伝道実習 2 (理論を含む)		1
伝道実習 3 (理論を含む)		1
伝道実習 4 (理論を含む)		1

人文科学部門

科 目 名	単 位	
	必修	選択
日本語学入門		2
日本語教育入門		2
日本語語彙論		2
日本語文法論 1		2
日本語文法論 2		2
日本語語用論		2
言語の対照研究		2
日本語教授法 1		2
日本語教授法 2		2
日本語指導法		2
日本語教育評価法		2
日本語教育実習		2

社会科学部門

科 目 名	単 位	
	必修	選択
図書館マネジメント論		2
図書館情報システム論		2
図書館サービス概論		2
情報サービス論		2
児童・YAサービス論		2
情報サービス演習 1		2
情報サービス演習 2		2
図書館情報資源概論		2
情報資源組織論		2
情報資源組織演習 1		2
情報資源組織演習 2		2
図書館情報学基礎特論		2
図書館情報資源特論		2
図書館とメディアの歴史		2
図書館情報学特論 A		2
図書館情報学特論 B		2
博物館展示論		2
博物館経営総論		2
博物館実習 1		2
博物館実習 2		1
矯正概論		2
更生保護概論		2
矯正保護教育 (施設参観を含む)		2

教職に関する専門教育科目

科 目 名	単 位	
	必修	選択
教職論		2
教育原理		2
教育課程論		2
学校教育心理学		2
学校教育社会学		2
道徳の理論及び指導法		2
教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）		2
教育相談の理論及び方法		2
生徒指導・進路指導の理論及び方法		2
教育実習講義		1
介護等体験		1
教職実践演習（中・高）		2
教育実習 1		2
教育実習 2		2
人権教育論 1		2
人権教育論 2		2
特別な支援の必要な生徒の理解		2
学校教育支援		1
特別活動・総合的な学習の時間の指導法		2
教育史特論		2
臨床教育学特論		2

別表第3（第54条関係）

科目		学部	人間学部	文学部	国際学部	体育学部	
入学金			100,000	100,000	100,000	100,000	
授業料	春学期	令和4年度以降入学	380,000	380,000	380,000	400,000	
		令和3年度以前入学	330,000	330,000	330,000	350,000	
	秋学期	令和4年度以降入学	380,000	380,000	380,000	400,000	
		令和3年度以前入学	330,000	330,000	330,000	350,000	
	年額	令和4年度以降入学	760,000	760,000	760,000	800,000	
		令和3年度以前入学	660,000	660,000	660,000	700,000	
	教育設備充実費	春学期分	令和3年度以降入学	110,000	110,000	110,000	125,000
			令和2年度入学	100,000	100,000	100,000	115,000
令和元年度入学			90,000	90,000	90,000	105,000	
平成30年度以前入学			75,000	75,000	75,000	90,000	
秋学期分		令和3年度以降入学	110,000	110,000	110,000	125,000	
		令和2年度入学	100,000	100,000	100,000	115,000	
		令和元年度入学	90,000	90,000	90,000	105,000	
		平成30年度以前入学	75,000	75,000	75,000	90,000	
年額		令和3年度以降入学	220,000	220,000	220,000	250,000	
		令和2年度入学	200,000	200,000	200,000	230,000	
		令和元年度入学	180,000	180,000	180,000	210,000	
		平成30年度以前入学	150,000	150,000	150,000	180,000	

教育設備充実費については、2年目以降は5万円増とする。

科目		学部	医療学部
		入学金	
授業料	春学期		545,000
	秋学期		545,000
	年額		1,090,000
教育設備充実費	春学期分	令和5年度以降入学	237,500
		令和4年度以前入学	400,000
	秋学期分	令和5年度以降入学	237,500
		令和4年度以前入学	100,000
	年額	令和5年度以降入学	475,000
		令和4年度以前入学	500,000

令和5年度以降入学生の教育設備充実費については、2年目以降は10万円増とする。

過年度在学生

費目	区分 学部	令和4年度入学生	令和3年度入学生	令和2年度入学生	令和元年度入学生
		年額			
授業料	全学部	360,000円 + (20,000円 × 年間登録単位数)	260,000円 + (20,000円 × 年間登録単位数)		
教育設備 充実費	人間学部 文学部 国際学部	270,000円	270,000円	250,000円	230,000円
	体育学部	300,000円	300,000円	280,000円	260,000円

費目	区分 学部	成30年度以前入学生
		年額
授業料	全学部	260,000円 + (20,000円 × 年間登録単位数)
教育設備 充実費	人間学部 文学部 国際学部	200,000円
	体育学部	230,000円

設置者変更の事由及び時期を記載した書類

事項	記入欄			
計画の区分	天理医療大学医療学部を設置者変更			
変更前の設置者	ガッコウホウジン テンリ ヨロズ ソウダンジョ ガクエン 学校法人 天理よろづ相談所学園			
学校法人の位置	奈良県天理市別所町80番地の1			
変更後の設置者	ガッコウ ホウジン テンリ ダイガク 学校法人 天理大学			
学校法人の位置	奈良県天理市守目堂町213番地の4			
設置者変更をする事由	<p>平成30(2018)年11月に中央教育審議会が答申した『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン』に示された今後高等教育が目指すべき方向性に照らし、両大学がそれぞれ学校としての伝統と強みをさらに進展させるとは自明のことだが、両大学が高等教育機関として求められている姿に志向するために双方の強みを相手方の大学に活かすことにより、さらに上進することが可能になると考えている。</p> <p>具体的には、天理大学は天理外国語学校として設立し、履修可能な言語は現在10カ国語と留学生に対しては日本語教育を実施している。さらに昭和30(1955)に開設した体育学部では保健体育の教員養成とアスリートの育成教育を、平成4(1992)年の改革では人間関係学科を設置し、臨床心理士や公認心理師、社会教育、社会福祉士等の養成教育も実施してきた。他方天理医療大学は医療専門職養成の専修学校として設立されて以降、一貫して看護師と臨床検査技師の養成を実施し、平成24(2012)年の大学設置以降も継続している。天理医療大学の前身学校の設置組織である天理よろづ相談所病院は、昭和41(1966)に財団法人として設置時からコンゴに診療所を設置するなど海外における医療従事者に積極的に関わってきたものの、近年ではその活動が従来ほどには積極的に行える状況にはない。しかしながら、グローバル化した現在において多くの外国人も医療機関を利用する機会が急増し、日常的に臨床部門で外国語によるコミュニケーションが重要になるとともに、今後医療従事者育成する対象として海外出身者も増加するものと想像できる。そのような環境において、天理大学の強みである語学教育力を組み合わせることで、多様な学生を医療従事者として育成できるとともに、コミュニケーション能力の高い医療従事者の育成が可能になる。また、天理医療大学は単科大学として専門職の育成環境には適しているものの、人文学系の学修の幅を拡げることは難しく、天理大学は人文学系総合大学としての学修の幅は確保できるが、文理横断的な学修の幅を拡げることは経営上の課題もあった。また、体育学部においては、従来の身体的側面と精神面側面の強化を中心にアスリート育成をはかっているが、近年重要視されているスポーツ医学的側面からのサポート体制の強化が急がれているなかで、天理医療大学が培ってきた検査技術や知識を加えることは極めて有効である。</p> <p>加えて、学校法人の経営的側面からは、天理医療大学は1学部2学科の単科大学であり、1学年100名収容定員400名の小規模大学であるが、法人や大学を運営するためには図書館等の学修設備はじめ、学務・教務システムや財務システム、学修のためのICT環境整備などの必要経費が一定の要する。私立大学学校振興・共済事業団の報告によると、近年では1学年の定員の大学経営への影響について、安定的な経営を持続するためには800名がその基準となっている。現在天理大学は770名であり、天理医療大学は100名である。今回の学部設置者を変更することによって、1学年870名の定員を要することになり、現状より安定的な経営を継続することのできる基盤が構築できる。併せて、学務・教務システムや財務システム、学修のためのICT環境整備の共通化を図ることにより、より効率的で継続的に大学運営をはかることができる。</p> <p>両大学の強みを統合することで、大きな教育効果が期待できるものの、大学統合には従来の制度では経営的側面で課題があった。今回の申請の契機の一つは、平成30(2018)年のグランドデザイン答申に盛り込まれた学校法人の経営の強化の一環としての学部譲渡制度の提言があり、その後の私立学校法及び私立学校法施行規則等の制度改正である。学部単位での設置者変更が可能になり、「教育の質保証」並びに「教育条件の同一性」を担保した上であれば事業譲渡を円滑に行う方向であるとの答申を受けて、現行の天理医療大学の教育制度を変更することなく、天理大学として事業を継続することができ、さらに学修の幅が拡げることが可能になると判断した。</p> <p>学部設置者変更の対象である医療学部(看護学科及び臨床検査学科)は、それぞれの国家資格である看護師並びに臨床検査技師の資格を取得するための受験資格を得る教育課程である。そのため看護師の場合は指定学校としての認可を得ている。そのため、受験資格を得るために定められた教育課程を現行通り維持し、学部設置者のみを変更するのが本申請である。今回の学部設置者を変更するが、天理医療大学において設置されていた教育課程並びに教育組織は変更せず、指定学校としては大学名の名称変更の届けとしている。天理医療大学医療学部として認可されていた教育課程、学位の名称、教育組織、学科の構成は変更しない。</p>			
設置者変更前後の組織	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>〈変更前〉</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間学部 宗教学科 人間関係学科 文学部 国文学国語学科 歴史文化学科 国際学部 外国語学科 地域文化学科 体育学部 体育学科 <p>天理医療大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科 臨床検査学科 </td> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;"> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>〈変更後〉</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間学部 宗教学科 人間関係学科 文学部 国文学国語学科 歴史文化学科 国際学部 外国語学科 地域文化学科 体育学部 体育学科 <p>医療学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学科 臨床検査学科 </td> </tr> </table>	<p>〈変更前〉</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間学部 宗教学科 人間関係学科 文学部 国文学国語学科 歴史文化学科 国際学部 外国語学科 地域文化学科 体育学部 体育学科 <p>天理医療大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科 臨床検査学科 		<p>〈変更後〉</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間学部 宗教学科 人間関係学科 文学部 国文学国語学科 歴史文化学科 国際学部 外国語学科 地域文化学科 体育学部 体育学科 <p>医療学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学科 臨床検査学科
<p>〈変更前〉</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間学部 宗教学科 人間関係学科 文学部 国文学国語学科 歴史文化学科 国際学部 外国語学科 地域文化学科 体育学部 体育学科 <p>天理医療大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科 臨床検査学科 		<p>〈変更後〉</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間学部 宗教学科 人間関係学科 文学部 国文学国語学科 歴史文化学科 国際学部 外国語学科 地域文化学科 体育学部 体育学科 <p>医療学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護学科 臨床検査学科 		
変更の時期	令和5年4月1日			
設置者変更前後の学位	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>〈変更前〉 天理医療大学医療学部</p> <p>天理医療大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科(学士(看護学)) 臨床検査学科(学士(臨床検査学)) </td> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;"> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>〈変更後〉 天理大学 医療学部</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科(学士(看護学)) 臨床検査学科(学士(臨床検査学)) </td> </tr> </table>	<p>〈変更前〉 天理医療大学医療学部</p> <p>天理医療大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科(学士(看護学)) 臨床検査学科(学士(臨床検査学)) 		<p>〈変更後〉 天理大学 医療学部</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科(学士(看護学)) 臨床検査学科(学士(臨床検査学))
<p>〈変更前〉 天理医療大学医療学部</p> <p>天理医療大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科(学士(看護学)) 臨床検査学科(学士(臨床検査学)) 		<p>〈変更後〉 天理大学 医療学部</p> <p>天理大学</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療学部 看護学科(学士(看護学)) 臨床検査学科(学士(臨床検査学)) 		

<p>教育課程</p> <p>(設置者変更前後の授業科目数)</p>	<p>〈変更前〉天理医療大学医療学部看護学科</p> <table border="1"> <tr> <td>講義</td> <td>演習</td> <td>実演・演習</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>37科目</td> <td>26科目</td> <td>13科目</td> <td>76科目</td> </tr> </table>	講義	演習	実演・演習	計	37科目	26科目	13科目	76科目	→	<p>〈変更後〉天理大学 医療学部看護学科</p> <table border="1"> <tr> <td>講義</td> <td>演習</td> <td>実演・演習</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>37科目</td> <td>26科目</td> <td>13科目</td> <td>76科目</td> </tr> </table>	講義	演習	実演・演習	計	37科目	26科目	13科目	76科目																								
	講義	演習	実演・演習	計																																							
37科目	26科目	13科目	76科目																																								
講義	演習	実演・演習	計																																								
37科目	26科目	13科目	76科目																																								
<p>〈変更前〉天理医療大学医療学部臨床検査学科</p> <table border="1"> <tr> <td>講義</td> <td>演習</td> <td>実演・演習</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>33科目</td> <td>22科目</td> <td>20科目</td> <td>75科目</td> </tr> </table>	講義	演習	実演・演習	計	33科目	22科目	20科目	75科目	→	<p>〈変更後〉天理大学 医療学部臨床検査学科</p> <table border="1"> <tr> <td>講義</td> <td>演習</td> <td>実演・演習</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>33科目</td> <td>22科目</td> <td>20科目</td> <td>75科目</td> </tr> </table>	講義	演習	実演・演習	計	33科目	22科目	20科目	75科目																									
講義	演習	実演・演習	計																																								
33科目	22科目	20科目	75科目																																								
講義	演習	実演・演習	計																																								
33科目	22科目	20科目	75科目																																								
<p>教員組織の概要</p> <p>(設置者変更前後の教員組織)</p>	<p>〈変更前〉天理医療大学 医療学部</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="6">専任教員等</td> <td rowspan="2">兼教員 任等</td> </tr> <tr> <td>教授</td> <td>准教授</td> <td>講師</td> <td>助教</td> <td>計</td> <td>助手</td> </tr> <tr> <td>16人</td> <td>4人</td> <td>11人</td> <td>7人</td> <td>38人</td> <td>4人</td> <td>97人</td> </tr> </table>	専任教員等						兼教員 任等	教授	准教授	講師	助教	計	助手	16人	4人	11人	7人	38人	4人	97人		<p>〈変更後〉天理大学 医療学部</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="6">専任教員等</td> <td rowspan="2">兼教員 任等</td> </tr> <tr> <td>教授</td> <td>准教授</td> <td>講師</td> <td>助教</td> <td>計</td> <td>助手</td> </tr> <tr> <td>16人</td> <td>4人</td> <td>11人</td> <td>7人</td> <td>38人</td> <td>4人</td> <td>97人</td> </tr> </table>	専任教員等						兼教員 任等	教授	准教授	講師	助教	計	助手	16人	4人	11人	7人	38人	4人	97人
専任教員等						兼教員 任等																																					
教授	准教授	講師	助教	計	助手																																						
16人	4人	11人	7人	38人	4人	97人																																					
専任教員等						兼教員 任等																																					
教授	准教授	講師	助教	計	助手																																						
16人	4人	11人	7人	38人	4人	97人																																					

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ナガオ ノリアキ 永 尾 教 昭 <平成28年4月>		文学史		宗教法人天理教会本部役員 <平成23年4月> 公益財団法人世界宗教者平和会議(WCRP) 日本委員会 理事<平成30年6月>

（注） 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等												
(医療学部看護学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年 間 講 義 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 す る 週 当 たり 平 均 日 数
1	専	教授	エナミ ノブコ 江南 宣子 <令和5年4月>		博士 (医学)		母性看護学 母性看護学方法論 母性看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 4春 臨床判断能力の探究 ワイメンズヘルスケア論	2秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	1 2 2 0.4 1 0.1 2 2 1 0.6	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成28年4月)	5日
2	専	教授	オカモト キョウコ 岡本 響子 <令和5年4月>		博士 (学術)		精神看護学 精神看護学方法論 精神看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 家族看護論 ストレスマネジメント論 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	2秋 3春 3秋 2春 2春 3春 3春 3春 4通 4春 4秋	2 2 2 0.4 1 0.6 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成28年4月)	5日
3	専	教授	アダチ ミユキ 足立 みゆき <令和5年4月>		修士 (法学)		看護学概論 看護早期実習 看護過程論 看護学方法論 I 看護援助論 看護学方法論 II ヘルスアセスメント 看護基礎実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	1春 1春 1秋 1秋 2春 2春 2秋 2秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	2 1 0.9 2 0.4 2 1.6 2 0.4 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (令和元年5月)	5日
4	専	教授	ミノグチ ユキエ 溝口 幸枝 <令和5年4月>		修士 (看護学)		小児看護学 小児看護学方法論 小児看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 家族看護論 看護学研究方法論 看護学研究 看護管理論 看護統合実習 臨床判断能力の探究 災害看護論	2秋 3春 3秋 2春 2春 3春 3春 4通 4春 4春 4秋 4秋	1.2 1.2 2 0.4 1 0.1 0.1 2 0.7 2 1 0.3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (令和2年4月)	5日
5	専	教授	オクダ マキコ 奥田 真紀子 <令和5年4月>		修士 (学術)		地域の暮らしと看護 地域・在宅看護学 地域看護学方法論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 地域共生マネジメント方法論 地域共生マネジメント実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 家族看護論 看護学研究 看護学研究方法論 看護統合実習 臨床判断能力の探究	1春 2春 2秋 2秋 4春 4春 4春 2春 2春 3春 4通 3春 4春 4秋	1 2 1 0.2 2 1 1 1 1 0.1 2 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (令和2年4月)	5日
6	専	教授	ヤマナカ マサコ 山中 政子 <令和3年4月>		博士 (看護学)		成人看護学 成人看護援助論 慢性期看護学方法論 慢性期(在宅移行)看護学実習 急性期看護学方法論 急性期看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 緩和ケア論	2秋 3春 3春 3秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	1 0.5 1 3 1 2 1 0.1 2 2 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (令和3年4月)	5日
7	専	特任 教授	フナセ タカコ 船瀬 孝子 <令和5年4月>		修士 (学術)		高齢者看護学 高齢者看護学方法論 高齢者看護学実習 I 高齢者看護学実習 II 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 高齢者健康増進看護論	2秋 3春 3秋 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	1 1.2 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 特任教授 (令和3年4月)	5日

8	専	准教授	トダ チユ 戸田 千枝 <令和5年4月>	博士 (人間科学)	母性看護学 母性看護学方法論 母性看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 家族看護論 ウィメンズヘルスケア論	2秋 3春 3秋 2春 3春 3春 4通 4春 4秋 3春 4秋	0.9 2 1 0.4 1 0.1 2 2 1 0.1 0.4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 准教授 (令和3年4月)	5日
9	専	准教授	タカハシ リサ 高橋 里沙 <令和5年4月>	博士 (公衆衛生学)	医療英語A 精神看護学方法論 精神看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 国際看護論	2春 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	1 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 准教授 (令和2年4月)	5日
10	専	准教授	ヤマモト カヨコ 山本 佳世子 <令和5年4月>	博士 (人間・環境学)	基礎ゼミナール 英語A 1 英語A 2 英語B 1 英語B 2 コミュニケーション演習 医療英語A 医療英語B 保健医療概論 グリーフケア論	1春 1春 1秋 1春 1秋 1秋 2春 2秋 1春 4秋	2 1 1 1 1 0.9 1 1 0.7 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 准教授 (令和3年4月)	5日
11	専	講師	タカハシ アキ 高橋 晶 <令和5年4月>	修士 (学術)	地域の暮らしと看護 地域・在宅看護学 地域看護学方法論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 地域共生マネジメント方法論 地域共生マネジメント実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	1春 2春 2秋 2秋 4春 4春 4春 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	1 0.2 1 1 2 0.9 1 0.4 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (平成30年4月)	5日
12	専	講師	マツイ リエ 松井 利江 <令和5年4月>	修士 (人間学)	成人看護学 成人看護援助論 慢性期看護学方法論 慢性期(在宅移行)看護学実習 急性期看護学方法論 急性期看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 がん看護論	2秋 3春 3春 3秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	0.5 0.2 1 3 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (平成28年4月)	5日
13	専	講師	イシバシ カズヨ 石橋 かず代 <令和5年4月>	修士 (看護学)	小児看護学 小児看護学方法論 小児看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	2秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	0.2 1.2 2 0.4 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (平成29年4月)	5日
14	専	講師	イワゴウ シノブ 岩郷 しのぶ <令和5年4月>	修士 (看護学)	高齢者看護学 高齢者看護学方法論 高齢者看護学実習 I 高齢者看護学実習 II 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 高齢者健康増進看護論	2秋 3春 3秋 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	0.5 1 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (令和3年4月)	5日
15	専	講師	ヒンダ ジュンコ 檀田 純子 <令和5年4月>	修士 (教育)	地域の暮らしと看護 地域・在宅看護学 地域看護学方法論 在宅看護学方法論 在宅看護学実習 地域共生マネジメント方法論 地域共生マネジメント実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	1春 2春 2秋 2秋 4春 4春 4春 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	1 0.2 1 1 2 0.9 1 0.4 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (令和3年4月)	5日
16	専	講師	モリシマ ミチコ 森嶋 道子 <令和5年4月>	修士 (健康科学)	看護早期実習 看護過程論 看護援助論 看護学方法論 II ヘルスケアマネジメント 看護基礎実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	1春 1秋 2春 2春 2秋 2秋 2春 3春 3春 4通 4春 4秋	1 0.9 0.9 2 1.8 2 0.4 2 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (平成30年4月)	5日

17	専	講師	アズマ マリ 東 真理 ＜令和5年4月＞	修士 (看護学)	成人看護学 成人看護援助論 慢性期看護方法論 慢性期(在宅移行)看護学実習 急性期看護方法論 急性期看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 クリティカルケア論	2秋 3春 3春 3秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	0.2 0.4 1 3 1 2 0.4 1 0.1 2 2 2 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (令和2年4月)	5日
18	専	講師	イマイ リカ 今井 理香 ＜令和5年4月＞	修士 (看護学)	成人看護学 成人看護援助論 慢性期看護方法論 慢性期(在宅移行)看護学実習 急性期看護方法論 急性期看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 クリティカルケア論	2秋 3春 3春 3秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	0.1 0.2 1 3 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1 0.6	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 講師 (令和2年4月)	5日
19	専	講師	ヨコイ ユミエ 横井 弓枝 ＜令和2年9月＞	修士 (看護学)	看護早期実習 看護過程論 看護方法論 I 看護援助論 看護方法論 II ヘルスアセスメント 看護基礎実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	1春 1秋 1秋 2春 2春 2秋 2秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	1 0.9 1.4 0.4 2 1.6 2 0.4 1 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助教 (令和2年9月)	5日
20	専	助教	イトウ サキ 伊藤 咲 ＜令和5年4月＞	修士 (心身健康科学)	高齢者看護学 高齢者看護方法論 高齢者看護学実習 I 高齢者看護学実習 II 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 高齢者健康増進看護論	2秋 3春 3秋 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	0.2 0.9 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1 0.4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助教 (平成28年4月)	5日
21	専	助教	オガワ トモコ 小川 朋子 ＜令和5年4月＞	修士 (看護学)	看護早期実習 看護過程論 看護方法論 I 看護援助論 看護方法論 II ヘルスアセスメント 看護基礎実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	1春 1秋 1秋 2春 2春 2秋 2秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	1 0.9 1.4 0.9 2 1.7 2 0.4 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助教 (平成28年4月)	5日
22	専	助教	コバヤシ イズミ 小林 いずみ ＜令和5年4月＞	修士 (健康科学)	高齢者看護学 高齢者看護方法論 高齢者看護学実習 I 高齢者看護学実習 II 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究 高齢者健康増進看護論	2秋 3春 3秋 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋 4秋	0.1 0.9 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1 0.4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助教 (平成31年4月)	5日
23	専	助教	ハヤシダ カズコ 林田 一子 ＜令和3年4月＞	修士 (医療管理学)	精神看護方法論 精神看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 ストレスマネジメント論 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	3春 3秋 2春 2春 3春 3春 4通 4春 4秋	2 2 0.4 1 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助教 (令和3年4月)	5日
24	専	助教	モリ トミミ 森 知美 ＜令和3年4月＞	修士 (人間学)	成人看護援助論 慢性期看護方法論 慢性期(在宅移行)看護学実習 急性期看護方法論 急性期看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	3春 3春 3秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	0.2 1 3 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助教 (令和3年4月)	5日
25	専	助教	オオウチダ ヤスコ 大内田 靖子 ＜令和3年4月＞	修士 (学術)	成人看護援助論 慢性期看護方法論 慢性期(在宅移行)看護学実習 急性期看護方法論 急性期看護学実習 地域健康教育方法論 地域健康教育実習 看護学研究方法論 看護学研究 看護統合実習 臨床判断能力の探究	3春 3春 3秋 3春 3秋 2春 2春 3春 4通 4春 4秋	0.2 1 3 1 2 0.4 1 0.1 2 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助教 (令和3年4月)	5日
26	専	助手	クニイ ユカリ 國井 由加利 ＜令和5年4月＞						天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助手 (令和元年4月)	

27	専	助手	イクシマ ヨシコ 幾島 祥子 〈令和5年4月〉										天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助手 (令和3年4月)
28	専	助手	マエカワ リエコ 前川 理恵子 〈令和5年4月〉										天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助手 (平成31年4月)
29	専	助手	サガミ ヌウコ 佐上 裕子 〈令和5年4月〉										天理よろづ相談所学園 天理医療大学 助手 (令和元年7月)
30	兼担	教授	コマツ マサル 小松 方 〈令和5年4月〉	博士 (保健学)		微生物学 疾病の成り立ちと治療Ⅳ	1秋 2春	1 0.4	1 1				天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成29年4月)
31	兼担	教授	カナイ エリ 金井 恵理 〈令和5年4月〉	博士 (医学)		基礎ゼミナール 体のしくみⅠ 疾病の成り立ちと治療Ⅰ 薬理学・臨床薬理学 栄養学・臨床栄養学 保健医療概論 保健医療福祉行政論	1春 1春 1秋 2秋 2秋 1春 2春	2 1 1.9 0.1 0.1 0.1 0.1	1 1 1 1 1 1 1				天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成26年4月)
32	兼担	教授	コンドウ アキラ 近藤 明 〈令和5年4月〉	博士 (医学)		生化学	1秋	1.1	1				天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成29年4月)
33	兼担	教授	マスタニ ヒロシ 増谷 弘 〈令和5年4月〉	博士 (医学)		基礎ゼミナール 基礎からわかる生物・化学 医療英語A 医療英語B 体のしくみⅡ 分子医学の基礎 疾病の成り立ちと治療Ⅰ 疾病の成り立ちと治療Ⅱ 疾病の成り立ちと治療Ⅲ 疾病の成り立ちと治療Ⅳ 保健医療概論	1春 1 2春 2秋 1春 1春 1秋 1秋 1秋 2春 2春 1春	2 1.2 1 1 2 0.4 0.1 0.5 1.3 0.8 0.1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成29年4月)	
34	兼担	教授	ヤマノシ ハテロウ 山西 八郎 〈令和5年4月〉	博士 (保健学)		生化学 情報科学演習	1秋 2秋	0.9 1	1 1				天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成24年4月)
35	兼担	教授	ヤマガタ ヒデヒサ 山縣 英久 〈令和5年4月〉	博士 (医学)		基礎ゼミナール 基礎からわかる生物・化学 分子医学の基礎 疾病の成り立ちと治療Ⅱ 保健医療概論 公衆衛生学 保健医療福祉行政論	1春 1 1春 1秋 1春 1秋 2春	2 0.8 1.6 0.4 0.3 2 0.4	1 1 1 1 1 1 1				天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (令和3年1月)
36	兼担	特任教授	トダ ヨシノブ 戸田 好信 〈令和4年4月〉	博士 (医学)		病理学	2秋	1	1				天理よろづ相談所学園 天理医療大学 特任教授 (令和3年4月)
37	兼担	助教	ユウキ トモヒロ 結城 倫弘 〈令和4年4月〉	修士 (体育学)		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2	1春 1秋	2 2	1 1				天理大学 体育学部体育学科 助教 (令和2年4月)
38	兼担	講師	ヨモギダ タカマサ 蓬田 高正 〈令和4年4月〉	修士 (体育学)		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2	1春 1秋	2 2	1 1				天理大学 体育学部体育学科 講師 (平成28年4月)
39	兼担	准教授	カワカミ ヨウジ 川上 晃司 〈令和5年4月〉	修士 (体育学)		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2	1春 1秋	2 2	1 1				天理大学 体育学部体育学科 准教授 (平成29年4月)
40	兼担	教授	セウオン 魯 セウオン 〈令和5年4月〉	博士 (社会学)		カルチュラルスタディーズ	1秋	2	1				天理大学 国際学部地域文化学科 教授 (平成26年4月)
41	兼担	教授	ホリウチ ミドリ 堀内 みどり 〈令和5年4月〉	博士 (哲学)		ジェンダー・セクシュアリティ	1春	2	1				天理大学 おやさと研究所 教授 (平成15年4月)
42	兼担	准教授	ハコダ トオル 箱田 徹 〈令和4年4月〉	博士 (学術)		哲学概論A 哲学概論B	1春 1秋	2 2	1 1				天理大学 総合教育センター 准教授 (平成29年4月)
43	兼担	教授	アサカワ チヒロ 浅川 千尋 〈令和5年4月〉	修士 (法学)		日本国憲法 法学	1春 1秋	2 2	1 1				天理大学 総合教育センター 教授 (平成13年4月)
44	兼担	教授	カネコ アキラ 金子 昭 〈令和5年4月〉	博士 (哲学)		倫理学1 倫理学2	1春 1秋	2 2	1 1				天理大学 おやさと研究所 教授 (平成17年4月)
45	兼担	教授	ナカ アツシ 仲 淳 〈令和5年4月〉	修士 (教育学)		臨床心理学	1秋	0.4	1				天理大学 総合教育センター 教授 (平成30年4月)
46	兼担	教授	カミヤ ノブヒロ 神谷 直広 〈令和5年4月〉	博士 (医学)		体のしくみⅠ 疾病の成り立ちと治療Ⅱ 疾病の成り立ちと治療Ⅳ	1春 1秋 2春	0.3 0.1 0.1	1 1 1				天理大学 体育学部体育学科 教授 (平成26年4月)
47	兼担	講師	フカヤ ヒロカズ 深谷 弘和 〈令和5年4月〉	博士 (社会学)		現代社会と福祉1	2春	2	1				天理大学 人間学部人間関係学科 講師 (平成30年4月)
48	兼担	教授	アラカワ ヨシヒロ 荒川 善廣 〈令和5年4月〉	博士 (哲学)		建学の精神と現代社会	2春	2	1				天理大学 人間学部宗教学科 教授 (平成14年4月)
49	兼担	助教	フカヤ ヨウジ 深谷 耕治 〈令和5年4月〉	修士 (宗教学)		天理数学A 1 天理数学A 2	1春 1秋	2 2	1 1				天理大学 人間学部宗教学科 助教 (令和2年4月)

50	兼任	講師	サガワ ヒロミチ 佐川 宏迪 〈令和5年4月〉	博士 (人間・環境学)	教育学概論1	2春	2	1	大阪市立大学 都市文化研究センター 研究員 (平成3年4月)
51	兼任	講師	ニシカワ ヒロフミ 西川 弘展 〈令和5年4月〉	修士 (経営学)	経済学概論1 経済学概論2	1春 1秋	2 2	1 1	大阪市立大学 経済学研究科 特任助教 (平成30年4月)
52	兼任	講師	ナカムラ タカハル 中村 珍晴 〈令和5年4月〉	博士 (スポーツ科学)	障害学	1通	2	1	神戸学院大学 心理学部心理学 講師 (平成30年4月)
53	兼任	講師	カナヤマ サキコ 金山 佐喜子 〈令和5年4月〉	修士 (教育学)	心理学1 心理学2	1春 1秋	2 2	1 1	(元)高知大学 人文社会科学部 非常勤講師 (平成31年3月)
54	兼任	講師	ニシ ナオミ 西 直美 〈令和5年4月〉	博士 (グローバル社会研究)	政治学	1春	2	1	同志社大学 人文科学研究 所 嘱託研究員 (平成28年4月)
55	兼任	講師	サトウ タカノリ 佐藤 孝則 〈令和5年4月〉	博士 (学術)	地球環境論	1秋	2	1	(元)天理大学 おやさと研究所 教授 (令和2年3月)
56	兼任	講師	ハシグチ ショウジ 橋口 昌治 〈令和5年4月〉	博士 (学術)	労働と社会	1春	2	1	立命館大学 衣笠総合研究機構 専門研究員 (令和2年6月)
57	兼任	講師	カマタ ミチヒコ 鎌田 道彦 〈令和5年4月〉	博士 (学術)	臨床心理学	1秋	1.6	1	(元)天理医療大学 特任講師 (令和3年3月)
58	兼任	講師	マエダ タカヒロ 前田 崇博 〈令和5年4月〉	博士 (社会学)	現代家族論	2春	2	1	大阪城南女子短期大学 人間福祉学科 教授 (平成14年4月)
59	兼任	講師	オクムラ カズオ 奥村 和夫 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅲ 疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2春 2春	0.1 0.5	1 1	天理よろづ相談所病院 精神神経科 年俸制嘱託医員 (令和3年4月)
60	兼任	講師	ドイ ヒラク 土井 拓 〈令和5年4月〉	学士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅲ 疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2春 2春	0.1 0.4	1 1	天理よろづ相談所病院 小児科 部長 (平成28年11月)
61	兼任	講師	トミタ ヒロユキ 富田 裕之 〈令和5年4月〉	学士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2春	0.4	1	天理よろづ相談所病院 産婦人科 副部長 (令和2年4月)
62	兼任	講師	マツタケ カツコ 松下 克子 〈令和5年4月〉	学士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2春	0.3	1	天理よろづ相談所病院 産婦人科 年俸制嘱託医員 (平成30年9月)
63	兼任	講師	タカハシ ユキヒロ 高橋 幸博 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2春	0.3	1	奈良県赤十字血液 センター 所長 (平成28年4月)
64	兼任	講師	ハンモト アヤ 橋本 綾 〈令和5年4月〉		疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2春	0.1	1	奈良県福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 (令和2年4月)
65	兼任	講師	モリカワ ヒサエ 森川 久恵 〈令和5年4月〉	学士	栄養学・臨床栄養学	2秋	1.1	1	天理よろづ相談所病院 栄養部 係長 (令和3年4月)
66	兼任	講師	ハヤシノ ヤスアキ 林野 泰明 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	栄養学・臨床栄養学	2秋	0.3	1	天理よろづ相談所病院 内分科内科 部長 (平成29年4月)
67	兼任	講師	マツタニ ヤスオ 松谷 泰男 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	栄養学・臨床栄養学	2秋	0.5	1	日本赤十字社 和歌山医療センター 乳腺外科 (令和2年4月)
68	兼任	講師	フジワラ キヨシ 藤原 潔 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅲ 疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2春 2春	0.1 0.1	1 1	天理よろづ相談所病院 産婦人科 部長 (平成28年1月)
69	兼任	講師	タカヤマ ケンジ 高山 賢二 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅲ	2春	0.3	1	天理よろづ相談所病院 放射線部治療部門 部長 (平成31年4月)
70	兼任	講師	スエナガ トシヒコ 末長 敏彦 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	1秋	0.1	1	天理よろづ相談所病院 脳神経内科 特定嘱託部長 (平成15年6月)
71	兼任	講師	オオハシ ヒロカズ 大橋 啓一 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	1秋	0.1	1	天理よろづ相談所病院 眼科 副部長 (平成23年1月)
72	兼任	講師	コジマ ツヨシ 児嶋 剛 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	1秋	0.1	1	天理よろづ相談所病院 耳鼻咽喉科 部長 (令和3年4月)
73	兼任	講師	ユイ シュンペイ 由井 俊平 〈令和5年4月〉	学士	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 皮膚科 特定嘱託部長 (平成28年4月)
74	兼任	講師	タナベ ヒロシ 田邊 洋 〈令和5年4月〉	学士	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 皮膚科 特定嘱託部長 (平成28年4月)
75	兼任	講師	ヤマシロ ヒロヤス 山城 大泰 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 乳腺外科 部長 (平成26年6月)
76	兼任	講師	カヤマ マスガ 萱島 すが 〈令和5年4月〉	修士	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 感染症管理センター 主幹看護師 (令和3年4月)
77	兼任	講師	オクノ トキユキ 奥野 智之 〈令和5年4月〉	学士	薬理学・臨床薬理学	2秋	1.1	1	天理よろづ相談所病院 薬剤部 部長 (平成31年4月)

78	兼任	講師	カネマツ マコト 金松 誠 〈令和5年4月〉	学士	薬理学・臨床薬理学	2秋	0.8	1	天理よろづ相談所病院 薬剤部 副部長 (平成30年4月)
79	兼任	講師	イズモリ チコ 出森 智子 〈令和7年4月〉	学士 (看護)	医療安全管理学	4秋	0.4	1	社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 (平成11年4月)
80	兼任	講師	カワイ ノリコ 河合 のり子 〈令和5年4月〉		在宅看護方法論	2秋	0.1	1	天理よろづ相談所病院 副看護部長兼 患者総合支援センター 統括師長 (令和2年4月)
81	兼任	講師	タナカ ヒデユキ 田中 英行 〈令和6年4月〉		小児看護方法論	3春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 副看護部長 (平成28年4月)
82	兼任	講師	ニシオ エミ 西尾 恵美 〈令和6年4月〉		小児看護方法論	3春	0.1	1	大阪発達総合療養セン ター。訪問看護ステー ション ゆぐみ (平成25年4月)
83	兼任	講師	クマガイ エリコ 熊谷 恵利子 〈令和6年4月〉	学士	小児看護方法論	3春	0.1	1	特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会 事務局長 (平成31年4月)
84	兼任	講師	クチバナ ミホコ 橋 美保子 〈令和5年4月〉	修士 (社会学)	小児看護学 小児看護方法論	2秋 3春	0.5 0.9	1 1	大和大学保健医療学部 看護学科 講師 (令和3年4月)
85	兼任	講師	カンワダ マユ 柏田 真由 〈令和7年4月〉		看護管理論	4春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 副看護部長 (平成24年1月)
86	兼任	講師	アヤマ ヒロコ 青山 弘子 〈令和7年4月〉	学士 (教養)	看護管理論	4春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 看護部長 (平成31年4月)
87	兼任	講師	ホリハタ サチコ 堀畑 佐知子 〈令和7年4月〉		看護管理論	4春	0.1	1	天理よろづ相談所病院 看護部 主幹看護師 (令和3年5月)
88	兼任	講師	イシモト シンジ 石本 真治 〈令和7年4月〉		看護管理論 災害看護論	4春 4秋	0.1 0.6	1 1	天理よろづ相談所病院 看護師 (平成13年4月)
89	兼任	講師	ツギハシ ユキオ 次橋 幸男 〈令和5年4月〉	修士 (医療マ ジスト)	保健医療福祉行政論 災害看護論	2春 4秋	0.8 0.4	1 1	天理よろづ相談所病院 在宅世話センター 医員 (平成23年4月)
90	兼任	講師	イノウエ ナルト 井上 成人 〈令和5年4月〉	学士 (宗 教学)	天理教学B 1 天理教学B 2	1春 1秋	2 2	1 1	天理教 (平成5年4月)
91	兼任	講師	イハシ ユキエ 伊橋 幸江 〈令和5年4月〉	学士 (外国研 究)	天理教学C 1 天理教学C 2	1春 1秋	2 2	1 1	天理教 (平成2年4月)
92	兼任	講師	キノシタ ユミオ 木下 民生 〈令和5年4月〉	M. A (コミュニ ケーション学)	英語A 1 英語A 2 英語B 1 英語B 2	1春 1秋 1春 1秋	1 1 1 1	1 1 1 1	(元)天理大学 国際学部外国語学科 教授 (令和3年3月)
93	兼任	講師	タバヤシ ヒロアキ 田林 宏章 〈令和5年4月〉	修士 (宗教哲 学)	英語A 1 英語A 2 英語B 1 英語B 2	1春 1秋 1春 1秋	1 1 1 1	1 1 1 1	(元)天理教会本部 信者部 (令和3年3月)
94	兼任	講師	オオニシ イクコ 大西 郁子 〈令和5年4月〉	学士 (文学)	英語A 1 英語A 2 英語B 1 英語B 2 医療英語A 医療英語B	1春 1秋 1春 1秋 2春 2秋	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	(元)天理医療大学 特任教授 (令和3年3月)
95	兼任	講師	ヤマグチ マサユキ 山口 昌之 〈令和5年4月〉	学士 (法学)	保健医療福祉行政論	2春	0.7	1	山口法律会計事務所 弁護士 (平成27年1月)
96	兼任	講師	キムラ マサミチ 木村 正道 〈令和5年4月〉	学士 (文学)	コミュニケーション演習	1秋	0.1	1	天理よろづ相談所病院 事情部 講師 (平成13年11月)
97	兼任	講師	ヨシダ オサム 吉田 修 〈令和4年4月〉	博士	保健医療概論	1春	1	1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 元学長 (平成24年4月)
98	兼任	講師	イナモト タカシ 稲本 俊 〈令和5年4月〉	博士 (医学)	基礎ゼミナール 体のしくみⅠ 疾病の成り立ちと治療Ⅱ 保健医療概論	1春 1春 1秋 1春	2 0.9 0.5 0.1	1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 元副学長 (平成31年1月)
99	兼任	講師	ウチダ ヒロミ 内田 宏美 〈令和5年4月〉	博士 (社会学)	基礎ゼミナール 保健医療概論 医療安全管理学	1春 1春 4秋	2 0.1 1.6	1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 元学部長 (令和元年7月)

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等												
(医療学部臨床検査学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の職 務に 従 事 する 週 当 たり 平 均 日 数
1	専	教授	コマツ マサル 小松 方 <令和5年4月>		博士 (保健学)		医動物検査学 微生物検査学 I 微生物検査学 II 微生物検査学実習 臨床実習前総合演習 微生物検査学臨床実習 専門的臨床検査実習 臨床検査基礎演習 臨床検査研究 I 臨床検査研究 II 臨床検査研究 A 臨床検査学総合演習 B	4春 2春 2秋 3春 3秋 3秋 4秋 1春 3秋 4春 4秋 4秋	0.7 1.5 1.5 2.0 1.0 1.0 1.0 0.1 1.0 6.0 1.0 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成29年4月)	5日
2	専	教授	カナエ エリ 金井 恵理 <令和5年4月>		博士 (医学)						天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成31年4月)	
3	専	教授	コンドウ アキラ 近藤 明 <令和5年4月>		博士 (医学)		生化学検査学 生化学検査学実習 臨床実習前総合演習 生化学・免疫検査学臨床実習 専門的臨床検査実習 臨床検査基礎演習 臨床検査研究 I 臨床検査研究 II 臨床検査研究 A 臨床検査学総合演習 C	1秋 2春 3秋 3秋 4秋 1春 3秋 4春 4秋 4秋	2.0 1.0 1.0 0.4 1.0 0.7 1.0 6.0 1.0 0.6	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成29年4月)	5日
4	専	特任 教授	トダ ヨシノブ 戸田 好信 <令和5年4月>		博士 (医学)		病理検査学 I 病理検査学 II 病理検査学実習 I 病理検査学実習 II 輸血・移植検査学 臨床実習前総合演習 病理検査学臨床実習 専門的臨床検査実習 臨床検査研究 I 臨床検査研究 II 臨床検査研究 A 臨床検査学総合演習 A	2春 3春 2秋 3春 3春 3秋 3秋 4秋 3秋 4春 4秋 4秋	2.0 1.0 1.0 1.0 0.4 1.0 1.0 1.0 1.0 6.0 1.0 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 特任教授 (令和3年4月)	5日
5	専	教授	ハタナカ トク 畑中 徳子 <令和5年4月>		博士 (保健学)		免疫検査学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 臨床検査総合管理学 I 臨床検査総合管理学 II 臨床検査総合管理学 III 臨床検査総合管理学 IV 臨床病態検査学 臨床実習前総合演習 生化学・免疫検査学臨床実習 検査総合管理学臨床実習 専門的臨床検査実習 臨床検査基礎演習 臨床検査研究 I 臨床検査研究 II 臨床検査研究 A 臨床検査研究 B 臨床検査学総合演習 B	2春 2秋 3春 1秋 2秋 3春 4春 4秋 3秋 3秋 3秋 1春 3秋 4春 4秋 4春 4秋	1.1 1.0 2.0 2.0 0.5 0.6 0.5 0.6 1.0 0.4 1.0 0.1 1.0 6.0 1.0 1.0 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (令和3年4月)	5日
6	専	教授	マスカニ ヒロシ 増谷 弘 <令和5年4月>		博士 (医学)		血液検査学 II 臨床検査学研究 I 臨床検査学研究 II 臨床検査学研究 A	1秋 3秋 4春 4秋	0.5 1 6 1	1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成29年4月)	5日
7	専	教授	ヤマニシ ハチロウ 山西 八郎 <令和5年4月>		博士 (保健学)		臨床一般検査学 臨床一般検査学実習 臨床実習前総合演習 生化学・免疫検査学臨床実習 検査総合管理学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床検査研究 I 臨床検査研究 II 臨床検査研究 A 臨床検査研究 B 臨床検査学総合演習 C	1春 1秋 3秋 3秋 3秋 1春 3秋 4春 4秋 4春 4秋	2 1 1 0.2 0.4 0.1 1 6 1 1 0.3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成29年4月)	5日
8	専	教授	ヤマガタ ヒデヒサ 山縣 英久 <令和5年4月>		博士 (医学)		臨床検査学研究 I 臨床検査学研究 II 臨床検査学研究 A	3秋 4春 4秋	1.0 6.0 1.0	1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (令和3年1月)	5日
9	専	教授	ワダ シンイチ 和田 晋一 <令和5年4月>		博士 (保健学)		基礎生理検査学 循環機能検査学 神経感覚機能検査学 超音波検査学 生理検査学実習 臨床検査総合管理学 III 臨床実習前総合演習 生理検査学臨床実習 専門的臨床検査実習 臨床検査研究 I 臨床検査研究 II 臨床検査研究 A 臨床検査学総合演習 D	1春 1秋 2春 2春 2秋 3春 3秋 3秋 4秋 3秋 4春 4秋 4秋	2.0 1.6 1.4 0.7 0.4 0.1 1.0 4.0 1.0 1.0 6.0 1.0 0.5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	天理よろづ相談所学園 天理医療大学 教授 (平成31年4月)	5日

29	兼任	講師	ホリエ オサム 堀江 修 ＜令和5年4月＞		博士 (保健学)	神経感覚機能検査学 生理検査学実習	2春 2秋	0.1 0.3	1 1	神戸常盤大学 保健科学部 教授 (令和3年4月)
30	兼任	講師	シバタ ヒロミ 芝田 宏美 ＜令和5年4月＞		修士 (薬学)	神経感覚機能検査学	2春	0.5	1	兵庫医療大学薬学部 医療学科助手 (平成20年4月)
31	兼任	講師	タカハシ シュウイチ 高橋 秀一 ＜令和5年4月＞			超音波検査学	2春	0.3	1	済生会中和病院 (平成25年4月)
32	兼任	講師	マツヤ エウト 松谷 勇人 ＜令和5年4月＞			超音波検査学	2春	0.3	1	天理よろづ相談所病院 (平成18年4月)
33	兼任	講師	マツシタ ヨウコ 松下 陽子 ＜令和5年4月＞			超音波検査学	2春	0.4	1	天理よろづ相談所病院 (昭和60年4月)
34	兼任	講師	シノザキ ユウヤ 潮崎 裕也 ＜令和5年4月＞			超音波検査学	2春	0.3	1	天理よろづ相談所病院 (平成18年4月)
35	兼任	講師	クロノ カズヨ 桑野 和代 ＜令和5年4月＞			生理検査学実習	2秋	0.4	1	天理よろづ相談所病院 (平成元年4月)
36	兼任	講師	ヨシムラ サユリ 吉村 さゆり ＜令和5年4月＞			生理検査学実習	2秋	0.4	1	天理よろづ相談所病院 (昭和58年4月)
37	兼任	講師	ヒロタ タカヨ 廣田 貴代 ＜令和5年4月＞			生理検査学実習	2秋	0.4	1	天理よろづ相談所病院 (平成6年4月)
38	兼任	講師	キタガワ ミハル 北川 実美 ＜令和5年4月＞			生理検査学実習	2秋	0.1	1	天理よろづ相談所病院 (平成2年4月)
39	兼任	講師	シマダ マサシ 嶋田 昌司 ＜令和5年4月＞			臨床検査総合管理学Ⅱ 臨床検査総合管理学Ⅲ	2秋 3春	0.2 0.2	1 1	天理よろづ相談所病院 (平成2年4月)
40	兼任	講師	マツオ シュウジ 松尾 収二 ＜令和5年4月＞		博士 (医学)	臨床検査総合管理学Ⅲ 臨床検査総合管理学Ⅳ	3春 4春	0.2 0.2	1 1	天理よろづ相談所病院 (昭和54年4月)

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。